京城日報
一日夕刊
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
振替貯金口座 京城三〇〇番

○露都に於ける閑院宮殿下

閑院宮殿下にはグオルギー、ミハエロウヰツチ大公殿下と御同伴隨員と倶に十九日朝國立印刷局へ成らせられ同所に於て大藏陸軍兩大臣國立銀行總裁の御出迎を受けさせられ局内を御參觀相成り印刷局の事業に付き御説明申上たり其後殿下はミハエロウヰツチ大公邸に於て午餐の饗應を受けさせられたるがニコラスイチヤイロツチ大公殿下を始め本野大使大使館員宮内大臣等も陪席せり（露都電報）

○米國に於ける阪谷男

華盛頓來電＝阪谷男は國務省に於て正式に國務卿ランシング氏に紹介せられたり尚日本大使館書記官田中氏は二十九日夕刻阪谷男の言へる所（恐らく米國通信社の報じたる移民問題に關してならん）を正式に否認せり又阪谷男の演説には財政に關係ある政府當局者數名出席傾聽せり（紐育電報）

○鄭家屯事件解決催促

林公使は十九日午後段總理を訪ひ鄭家屯事件の迅速解決を催促し又時局に就き談話を交換せり（北京電報）

○新外交總長陸氏か

唐紹儀の辭職遂に聽許さる

外交部總長唐紹儀氏の辭職は已むを得ず聽許せられ段内閣は其後繼者に陸徵祥氏を以てするに内定せる由なるが國會は之を否決せんとする者尠なからざる有樣なり（北京電報）

◉三線運賃問題

▲奉天會議所の意見

三線運賃問題に關し全然大連とは反對の意見を懷抱せる奉天商業會議所は該問題に對する大連側の行動を明かに不當なりと認め過日總會を開きて決議したるが其の決議に基づき二十九日内外の重要關係方面へ左の意味の意見を電報にて送達したり

安奉線距離比例運賃制度は當會議所年來の主張に係り之が實行は帝國殖民政策上の一進歩にして滿蒙開發の爲めに一新紀元を開くものとす

（一）商業交通系統の變更は考慮を要すること勿論なりと雖も四圍の情勢は徒らに因襲に拘泥することを許さず朝鮮併合以前に在りては租借地活用上大連を保護するの政策を必要としたるも今や其必要を認めず

（二）安奉線距離比例制は滿蒙要部の市場に對し新たに貿易系統を創設するものにして從來大連線の一途に依りたる不利不便を根底より除却し邦人の發展に資すること多大なり

（三）大連は滿蒙の要港たるを失はずと雖も地理上交通上之を滿蒙貿易の中心市場として認むるを得ず若し其れ將來の工業的立脚地としても奉天は燃料用水の關係上最も適當なる地點なり

（四）本案は大連線を以て直ちに朝鮮線に換へんとするものに非ず常に停滯の嫌ある貨物の一部に朝鮮線利用の便を開くは目下の急務にして爲めに大連の繁榮並に滿鐵の收入に著しき影響ありと認めず以上の理由により是非共本案の成立實施せらるゝ樣御配慮を仰ぐ

▲姑息策を許さず

三線問題に關し愈々朝鮮に於ける商業會議所は悉く起ちて關係當局に國家の政策上至當なる解決を執らむことを希望陳情し又在鮮各新聞も一齊に筆鋒を鋭くして

▲現下の形勢

に對しつゝあり斯くの如く日本内地朝鮮滿洲を擧げて議論囂々たる間に於て來る五日の東京會議は果して如何なる結果を生み出すべきか、大連に於ては白仁民政長官中村滿鐵總裁が將に東京に發すべく埠頭を去らむとするや市民大會を開きて恰かも萬里遠征の將軍を送るが如くに其行を壯にしたりと謂ふ、長官總裁果して大連市民の期待に副ひ得べきや否や、今日の如く朝鮮側すらも蹶起せる場合に在りて此問題の解決は到底姑息彌縫の策を行ふに餘地なく政府當局としては必ずや帝國の大陸經營根本策に循がひて快刀亂麻を截つの擧に出づるの外他に途なき也、如何に割引して考ふるも若し大連側の主張が貫徹さるゝ場合には即ち我

▲大陸政策の逆轉

を覺悟せざる可らず、當局者と雖も一大連港保護の爲めに重要なる大陸策の地盤を動かすことは爲し能はざるべし、要するに此の問題の解決如何は我日本帝國の大陸發展政策の鼎の輕重の歧るゝ所にして一歩踏み過またば百年の禍根を貽すべきもの也、既に斯かる問題の爲めに仰々しき大評定を開きて對決せしむると云ふが抑々の間違ひにて交通機關を

▲政爭の具

に供し、不幸其の解決が當を失するに於ては朝鮮の經營上にも將又滿蒙經營上にも將來面白からぬ先例を殘し、邦人の海外發展は内より阻げらるゝこと、なるべし、此の問題の解決如何によりては在鮮民たる者一大覺悟を要すべし。

▲唯だ威力あるのみ

朝鮮の商業會議所は一齊に本問題に對して奮起せり電報を以て當局者に陳情する所あり、さり乍ら此れを以て能事畢るとなす勿れ、東京會議は目睫の間に迫れり、此際凡そ爲し得る限りの方法を執りて飽くまでも主張せよ、此問題の成行きは最早議論の時期にあらずして力づくで勝敗を決するまで白熱せるに非ずや、朝鮮に關係ある事は須らく在鮮民の力を以て解決すべし成行に任せて鼻毛を讀まるゝ事なき樣今日は嚴重に警戒し活動を積極的にせよ、

◉黄州林檎の需用

哈爾賓市場に於て

長春市場の果實商木村商店が哈爾賓より突然多大の林檎の注文に接したるが同店主は直に哈市に出張せる結果五千函許りの注文を得其足にて朝鮮の産地たる黄州に到り三千五百函許りを取纏め發送したりと云へるが今後尚續々注文あらんと云ふ斯く朝鮮産林檎が如何にして露領方面に好評を得しかに就き哈爾賓商業會議所の役員クロトマン氏は語つて曰く黄州産林檎は南滿産内地産北海道等の品質とは遙かに優良と認め大に本國地方に向つて紹介の勞を採り居れり而して今後各地市場に紹介せんと欲する種類は内地品より安價にして外見麗しく越年數月に亙るも腐敗等の患なく貯藏に堪ゆる紅玉、國光、大和錦等なれば將來此種の朝鮮産林檎が各市場に於て需要せらる可きを信ず云々（長春）

◉立花中將發期

立花第十九師團長は四日來京すべき川村元帥の招待及び龍山兵營の巡視に從ひし後六日午後九時五十分龍山發列車にて大森副官を隨へ黄州附近に於ける平壤旅團及び特科隊參加の秋季機動演習觀戰の爲め進發する由なるが岡本師團參謀長は出馬せずと

◉明年徵兵檢査

大正六年度朝鮮に於ける徵兵檢査は四月一日より十日迄の間に於て左記各隊に施行する旨秋山軍司令官の名により公表したるが適齡者は明年二月十日迄に所定の願書に戸籍謄本を添へ正副二通を其の受驗せんとする部隊に提出すべしと

平壤　龍山　元山　咸興　羅南　大田　大邱　光州　釜山

步兵第七十七聯隊　步兵第七十八聯隊　步兵第七十四聯隊第一大隊　步兵第七十四聯隊　步兵第七十七聯隊第一大隊　步兵第七十三聯隊　步兵第七十九聯隊　步兵第八十聯隊　步兵第八十聯隊第二大隊　步兵第八十聯隊第三大隊

釜山に於て受驗せんとする者は在大邱步兵第八十聯隊第三大隊に出願すべし又江界及び惠山鎭兩地の檢査は本年廢止されしに付同地方の適齡者は注意を要すべし

◉工業教育調査進捗

總督府にて調査中なりし工業教育調査は其後着々調査の歩を進めたるが目下委員中に差支の者を生じたるため全部の決定を見るに至らざれども近々委員會を開會するに至らば同調査の完了を告ぐるに至るべしと

□孫谷張三總長

段大總統時代に不遇の地位に在りたる國民黨も非和の光を復た見ることとなり得て遂に其勢力を得、正式内閣成立して内務、農商、司法の三總長を出せるに拘らず不幸にして二箇月に過ぎずして今日既に各方面の批難を受け孫内務總長は部内改革の反感を買ひ谷農商總長は五百萬元の借款を不法行爲として責められ張司法總長亦た阿片事件に關連せる理由を以て張勛一派の攻撃を受け到底現狀を維持し能はざるの狀態となれり（北京）

（右）孫洪伊（中）谷鍾秀（左）張耀曾

◉甲山精錬開始期

咸南甲山銅山に於て久原鑛業會社の建設しつゝある同鑛山銅鑛精錬機關は材料の輸送と其の据付調度を急ぎつゝある由なるが多少手筈狂ひ精錬開始期豫定より若干遲延すべしとの事なるも遲くも十一月上旬より試運轉を開始し得るに至るべしとの事なり

◉測地課員引揚

西北鮮地方にて測地作業を進めつゝある土地調査局測地課員は漸次事業終了し行くを以て來る十月中旬頃より續々本局に引揚げ十二月上旬までに全く地方を引き拂ふ豫定なるが今月末迄に多數の罷免者を發表すべしと

◉龍山委員總督府訪問

龍山各町總代聯合大會の決議に基き二十九日執行委員會を開會したる結果により執行委員豬太郎氏は三十日正午總督府を訪問し大會の決議事項を陳情する所ありたり

元山

▲新大豆の初荷　元山附近の新大豆の走りとして二十九日元山岡野商店へ釋王寺より二叺同大盛商會へ文川より二叺の入荷あり之れを昨年の初荷に比較すると日數に於て六日早く且つ品質は何れも頗る良好にして相場八月より八圓五十錢見當なりと▲國分司法長官　總督府國分司法長官は深澤監獄課長外隨員と共に二十七日來元二十八日永興方面視察中のところ二十九日累時三十分列車にて再び來元し直ちに法院支廳檢事分局及び監獄等の視察をなし翌三十日は午前中に府廳の巡視を終りたる上午後出帆の立神丸にて淸津に向ひ直行せり▲演習參加隊出發　既報羅南と咸興二個聯隊の秋期大演習に參加すべき元山大隊第一第二中隊は二日午後忠淸丸にて出發演習地に向ふ筈なるが元山大隊陽德派遣中隊のみは今回の演習に參加せざるべしと

平壤

▲有志大會前景氣　平壤に於ける砲兵工廠支廠設置問題は昨今一般市民の注意を喚起し殊に有志大會期日迫りたるを以て各委員は準備に忙殺せられ已に大會開催の廣告散紙を配付し何當日の辯士役割及び宣言書の起草等遺憾なく進捗せり場所は一時演武場と定められたるも同所は狹隘を感ずるより愈々歌舞伎座に決定せり▲小野田セメント工場　小野田セメント會社は平壤附近に於てセメント工場を新設すべく目下計畫中にて已に同會社技師淺井信太郎及び技手山岡吾市事務員兒玉寅藏の諸氏は頃日來平壤柳屋旅館に投宿滯在準備に從事せり而して該工場の位置は本道成川郡破邑若くは美林乙面美林里の内何れかに決定する由なるが目下の處美林里に設置せらるべく噂せらる而して材料は主として黄海道各地の石灰岩を採取すべしと▲高普校生徒修學旅行　平壤高等普通學校師範科生徒三十二名は齋藤教諭引率し四日間の豫程にて平安北道に師範科志望生三十名は長谷川教諭引率し一週間の豫定にて平安南道各地に修學旅行すること決し十月四日何れも出發する由▲普通教員講習會證書授與式　本年五月一日より開會せる平安南道公立普通學校教員講習會は九月三十日を以て終了せしより同日午後零時半より同校に於て修業證書授與式を擧げたり授證者は十六名なり

仁川

▲應援防疫員引揚　猖獗を極めたりし仁川の虎疫も稍終熄に入りたるを以て道廳より來援中なりし太田本田兩道警部は一日引揚げたり▲松元署長巡視　松元署長は一日午前十時より久木田警察署香曾我部檢疫員の兩氏を隨へ富川郡の防疫狀況視察をなしたり▲埋築病舍竣成　新花水里第二回埋築病舍は一日夜中に竣成の筈▲府尹日曜登廳　久水府尹は一日日曜なるにも拘らず登廳管内防疫狀況及び隔離病舍の視察をなしたり

群山

▲水校卒業式　群山簡易水産學校は既報せる如く三十日午後一時より群山瀧北兼ね校舍落成式に於て第一回卒業式を擧行したり全羅北道廳より道長官代理大久保第一部長來臨し定刻に至るや一、一同著席二、勅語奉讀、三、證書授與四、報告五、校長誨告、六、道長官代理訓辭、七、來賓祝辭、八、一年生送別の辭九、卒業生の答辭等の順序に依り式を終り主客一同校前に於て記念の撮影を爲し校堂に於て茶菓の饗應ありて午後五時散會したり▲小學運動會　群山公立尋常高等小學校にては來る十月十四日土曜日を期し秋季大運動會を開催する事に決定したるが虎疫流行の時節柄例年の如く生徒父兄等の辨當を携帶し來觀するを禁ぜられたり▲選手出發　十月一日より大田に開催せらるべき全鮮庭球大會に出席すべき群山選手等は三十日午後六時二十分群山發列車にて群山庭球倶樂部の見送を受け意氣昂然として大田に向ひたり▲特別議員　群山商業會議所特別議員として磯部謙哉山本毅已市鶴兩三氏任命せらるべしと

西鮮行寸信

二十九日樂山金鑛にて　日新生

▲信川は所謂載寧平野の中心を占め邑内の戸口九百餘、四十一戸の内地人中には旅館もあれば料理屋もあり、殊に目立つは米雜穀仲買商との看板にて豐富な農産の一大排泄口たるを偲ばしめ申候▲由來本郡は黄海道中の財源地に有之年々の租税總額十六萬圓と註せられ又た國有地の廣汎なること鮮内第一の由に候▲夜は坂川憲兵隊分遣所長大口公醫兩氏の來訪を受け二十八日は午前八時に此處を出發致し候今日は風凪ぎ空澄みて旅には誂へ向きの日和に候のみならず道路も昨日に比せば先づ良好の方とて甚だ愉快な道中を致し候▲此の邊豚を飼ふ家多く小屋の外には豚兒が戲れ、小川には鶩鳥や家鴨が浮くなど天下誠に安泰、豐かな秋は野に山に充ち滿ち申候▲殊に沿道の民家は何れも修理行き届いてまた昔日の醜狀なく、往き交ふ鮮人の顔は生氣にみちてまた昔日の菜色なし、田舍を巡つて嬉しきは産業の開發に伴ふ一般人民が生活程度の向上に御座候▲午後三時水橋著此處にて樂山鑛業所長其の他に迎へられ鑛主と共に更に里餘の山路を踏むで無事樂山鑛業事務所に著し申候

木浦

▲十八銀行飛躍　當地に於ける對哈爾賓貿易は益々隆盛に向ふべく我對外貿易の上に一新紀元を劃すべき趨勢を示し居れるが當地十八銀行支店にては茲に見る處あり新たに同地との間に取引を開始することゝなり既に二十八日より實行し居れり▲兵庫縣視察團　兵庫縣農會主催視察團十四名は三十日午後十時着の列車にて來木一日滯在各所を視察し二日早朝大田へ向け出發の豫定因に府廳及び會議所にては特に一行をホテルに招待し午餐を饗應すべし▲杉村檢事出發　大邱に榮轉せし杉村檢事は今二十九日正午發赴任の途に就きたるが官民有志の見送り盛んなりし

光州

▲豫防注射　全南虎疫豫防に從事する警察官憲兵其他一般職員に虎疫豫防注射を施すべく廿八日警務部より警務總監部へ之が注射液を請求せり▲守備隊の警戒　光州守備隊にては虎疫豫防の爲め一切魚類を食用に供せざる事とし又衛戍分院の入院患者には一切面會を謝絶する事とせり▲土調簿圖閲覽期　十月一日より光州郡土地調査地籍圖を閲覽に供する筈なりしも土地調査委員會十月一日に非らざれば終らざるを以て閲覽は十月二日より之を行ふ事となれり▲宮木長官旅程變更　管内巡視中の宮木長官は本月五日濟州城山浦へ向ひ同所より沿岸巡視の筈なりしも城山浦と遠からぬ旌義面に虎疫十名發生せしかば多分旅程を變更すべし▲浦野警務部長　濟州島巡視中の浦野本道警務部長は十月一日歸任▲大消潔法施行　九月卅日より三日間光州市街の大消潔法施行の筈也

人事消息

▲宋秉畯氏（子爵）　三十日午前水原へ
野田卯太郎氏（東拓副總裁）　一日午前水原へ
▲鹿兒島縣視察團一行二十七名　三十日水原へ
▲今西龍氏（京都帝大助教授）　三十日夜入京不知火へ
▲牧山耕藏氏（朝鮮公論社長）　同上
▲齋藤音作氏（營林廠長）　一日午前歸任
▲中村猪七郎氏（中村組社長）　一日朝南行列車にて出發
▲中村辰五郎氏（同總支配人）　一日朝北行列車にて歸南せり

◉訂正申込

拜啓陳れば貴紙九月二十九日夕刊第三千二百五十三號所報『問題となれる校長室』の記事中左記相違の廉有之候に付本全文を掲げて御訂正相成度此段申込候也　大正五年九月三十日　京城府　京城日報社長殿

一、校長室廢止は『校長會議の結果各校一齊に校長室を廢せり』云々とあれど右は其の筋の依命通牒に基づけるものにして校長會議の決議に依りしものにあらざるなり

二、校長室廢止の理由を西大門小學校兒童負傷事件並新設東大門小學校の設備と均衡上より出でしもの如く記載しあれど此は學校長が部下教員の指導監督上之と居所を同じくする必要ありと認めたるによるものなり

三、兒童監護に關して一年生擔任教員は該部率の如く必ずしも常に其の机を受持教室に置く必要ありと認めざるなり

四、本件は依命通牒なれば學校長に於て何等問題となし居らず學校長は夫々之が實行に努め居れり

尺八樂譜解說
尺八樂譜
東京小石川區大和町　尺八教授　水野呂童

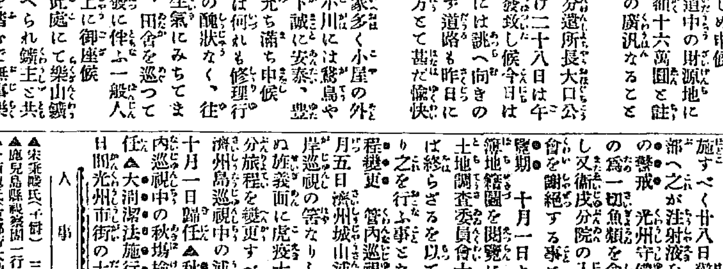
和洋 …… 增田

各種染料
豐 染料商會
地方より御注文は各洋行品御希望の通御取次可致候
京城長谷川町五十八　後藤商店　電話二一八番

地方事務員募集
專務副業隨意　男女年齡不問　簡易自宅で出來る確實有望に收入あり希望者は端書で照會せよ
京都市新門前通仲之町　日本商工通信社（他に類なき事業）

純粹培養ヨーグルト
撰乾牛乳
京城東大門町四　東亞牧場

▲產婦人科
本院　京城旭町一丁目　電話二三四〇番　診察午後
分院　龍山漢江通（柳町）　電話一〇六番　診察午前
中央婦人病院　院主　衣笠



仙臺平
〆ル袴地
羽二重　斜子　御紋附地
見本進呈
仙臺大町　藤崎呉服店　振替口座東京一七九〇番

李完用伯 佛徒に説く

海印寺學堂の一日=戒心精進の秋

李完用伯は先月の下旬豫ての宿望であつた、陜川の海印寺に遊んだ。海印寺が朝鮮の古刹として又其世界的珍寶たる八萬大藏經版を有する點で有名なのは今更言ふも管である、が這般行つて見ると寺内が心持よく清潔なのに加へてその

▼經版が立派 に整理され殊にその保護の爲めに數名の警官さへ派遣されてゐたのには當局の意を須うることの篤いのに感じ昔はよく盗掠には强窃盗の被害や火災などが頻々とあつたのに思ひ比べて今昔の感に堪ねなかつたさうだ。寺僧は伯一行を款待措かず隅なく案内して廻つたが寺内には

▼佛教の學校 が有つて八九歳の少年から二三十歳の青年まで一堂にあつて普通學や佛教の學理やらを學んでゐるところは俗人の學校を見た目で見ると頗る奇觀である。伯は老僧の請に委せてその生徒に向つて一場の所感を述べたが、その要に曰く、近頃佛教徒が世の中の進歩に伴つて新教育を受けるのは時勢に遅れないための用意として

▼結構なこと であるが新教育も受ける當人の心得方の如何によつては考へもので徒らに都會の惡風にのみ感染するやうなことは誠に困つたものである田舍から京城へ出かけて來る僧侶の學生が僧服を嫌ふのを嫌つて俗人の服裝をしたがるは以ての外のことである朝鮮の佛教も今や漸次權威を認められて僧侶の社會的地位も向上するので朝鮮の佛教にとつて目下は最も大切な時期であるから諸君も其心掛で居なければならぬ。彼の俗人と懸け離れて濟衆の

▼高僧となる のは望む可きことだがそれと共に、輕佻の惡風に染まないやうによく注意しなければならぬと。一同の學生はこの激勵の言葉に感奮してゐたといふことである

日曜漫畫 平凡先生の鳥撃ち=めちや吉畫=

(1)今日から鳥撃が始まつたので、例年迷惑をする雁や雉子が集つて、今年は一つあべこべに鐵砲打ちを虐めてやらうぢやないかと相談をしました。(2)今に見ろ非道い目に遭せてやるぞと、待構へて居るところへやつて來たのは鐵砲打ちの平凡先生、ドンドンズドーンを打放すと、言ひ合せて置いた通り中つても中らなくつても『皆落ちろ』〜、落ちて死んだ眞似をするんだぞ と云つて十羽も二十羽もバタリ〜と落ちました。(3)それとは知られ平凡先生『愉快々々、これだから鐵砲打ちは廢められない、ウフ……そんなもんぢやい』を鼻を高くして居ますと、(4)こちらは死んだ眞似をして居た鳥の方で『用意はいゝか?』そらッ一『二の三』バタ〜〜と突然に飛び出したので面喰つた平凡先生、フワ〜と風船の樣に吊り上げられて『助けて呉れ!』

記念祭典

一日午前京城神社にて擧行

京城神社に於ける始政記念祭典は一日午前十時より擧行谷村祭官神扉を開き奉り其より神饌の供御玉串の神事などあり續て李王、李太王兩殿下李堈公兩殿下の各代理及び總督代理久芳人事課長、立花師團長、氏子總代大垣幹事長等相次で玉串を捧げ十一時頃終了したるが一般參詣者も多數ありたり

卒業式の前日に燒失す

光州の蠶業傳習所

九月廿九日午前三時半光州市外楊林里なる恩賜授産事業光州蠶業傳習所より出火し同所建物全部を燒失して鎭火せしが同所にては十月卅日を以て傳習生の卒業式を擧行すべく既に授業は修了して卒業式の準備中西村教師は要務の爲め午前一時頃迄執務して宿直の傳習生四名に跡始末を命じ歸宅せしものにて發火の原因に就ては尚ほ取調中因に卒業式は已むなく郡廳光山館にて行ふ筈なり

官金盜難損害 陪償事件

大邱郵便局長を代理人として遞信局長官池田十太郎氏が大邱郵便局郵便物遞送請負人なる大野峰次郎を相手取り大邱地方法院に提起したる官金八千七百圓の損害陪償事件公判は二十九日大邱地方法院にて開廷原告請求の金額は當然被告大野が辨償すべき旨の判決言渡しありたり

給料不拂より官兵馬賊と化る

又復吉林兵の暴行

三十日午後一時半頃郭家店より歸還せる吉林兵一箇中隊當地旅宿に宿泊中二箇月餘の給料を支拂はざるより六十餘名は不平を起し城内にて掠奪を始めんとて馬賊に化し城内北部雜貨店及び其附近を掠奪し火を放ち之を制止せんとせる長春兵と一時戰を交へ退却しつゝ發砲し何處へか逃亡せり銃聲火災等熾の爲め一時は混雜を來し一般閉戸閉店し人心恟々たり我守備隊警務署は人民保護の爲め急行せり一時交通を遮斷せしが午後三時より通行を許可し無事平穩に歸せり(長春特電)

海水より虎菌を發見す

コレラ患者の排泄物を投棄せし釜山牧の島渡船場より洲岬渡船場に至る薩摩堀入口三角線内の海水及び其附近一帶の海水に就き鈴木傳染病院醫師は數日に亙りて檢黴的嚴密なる試驗を爲せし結果二十九日午前に至り果してコレラ菌の存在せるを發見せりとの報告ありし由左れば愈々釜山海の海水は全く危險のものとなれり(釜山)

乘降禁止を解かれた杻峴驛

虎疫の爲めに乘降を禁止されてゐた京仁線杻峴驛は二十九日からその禁止を解かれた、これ仁川の虎疫終熄の兆として悦ぶ可きことである杻峴驛は三十日許り騷つた花平里に虎疫が蔓延し初めた

■二十日から 封鎖されたのであるが同驛は仁川出入の乘降客の殆んど總てを吞吐する個所であるから封鎖される事となつた日からは防疫班の物々しい警戒で驛へは火の消えた樣に寂しくなり其の代り貨物驛とも言ふ可き仁川驛が急に大繁昌、從來一日の乘車賃金が平均二十圓内外であつたものが十倍の二百圓にも達した樣な割合になつた相だ、杻峴驛に於ける九月一日から十九日一列車の乘客は三千四百降客三千五百であつた

■解除日たる 二十九日は正午から乘車客が三十二人降車客が百二十八人三十日が正午迄で乘降車客共百五十名位に過ぎぬ此れを八月に比較すると八月は杻峴のみにて一日平均七百人以上であつたが九月は仁川杻峴兩驛を通じて約六割に過ぎぬであらうと

神仙臺燒却所 鼠穴より出火

幸に大事に至らず

神仙臺燒却所は廿九日午後六時半頃屋上丈け燒失せるが原因は死亡者の燒却後鼠穴か何かの箇所より火氣の生じたるならんと損害四十圓位なるべし(釜山)

コレラ彙報

葬式後に發見

鮮人市街に續發

京城の虎疫は遂に鍾路警察署管内の朝鮮人部落を襲撃するに至れり鍾路署にては結果三十日眞正コレラと決定し鍾路署にては直ちに患家を隔離し附近五十五戸に對し交通遮斷をなし同時に井戸を封鎖して水道栓を開放したり又忠信洞八十四番地嚴姓女(五五)は三十日午後二時頃死亡し之も檢便の結果一日午前眞正と判明し鍾路警察署にては松井署長以下多數の警官出張して大消毒をなしたるが同日午前十一時患家の附近に又一名の患者を發見したるを以て消毒隔離等を嚴重に斷行し居れり忠信洞は東大門内の山の手にして内地人の居住者としては南大門通り共益者の舍宅ありと

△仁川普通學校の注射 仁川公立普通學校にては十月一日午後一時より虎列拉豫防注射をなす可く遮斷區域内の生徒は寺町天道教會内に於て施行する由因に外里徐丙義氏は同發中に五圓を寄附したり

△百十二名の隔離 廿九日午前草梁市場に於て發生したる虎疫患者は傳染病院に收容したるが附近交通遮斷及び隔離は四十六戸百十二名に達せり(釜山)

●訂正 前號朝刊第三面所載『駐日英大使令息戰死す』と題する記事の英國大使は露國大使の誤に付訂正す

市十郎の仁木と熊谷

■久し振りに京城で昔風の歌舞伎らしい芝居を觀せられたといふことを先づ劈頭に記して置かう、それは三十日から壽座に開演した老優市川市十郎に對して若い者が果へる一部の講評であらねばならぬ。御見得狂言は『伽羅先代萩』二番目が『扇屋熊谷』

■序幕の竹の間と先代萩の竹の間を見落して、飯炊場の前半から觀た。入ると直ぐ鋒錦の宿へが此の幕に於けるいろ〜の約束を無視して随分亂雜な所があるのが眼についた。此の座の立女形だらう、鋒左衛門といふ役者の政岡はお約束の緋倫子の着付に黑地の裲持竹の蹈襦を流して、椎井髱に髻を挿した姿は、乳人らしく見ねたけれども、如何に奥州五十四郡の危急存亡を一身に集めてゐるとは言へ、少しギス〜してゐて餘り千代なり、千松なりに對し、苦しい中からチヨ〜と情愛を見せる役の性根を毀してゐた

■臺詞の調子の悪るいこと、餘り床の一句一句にチヨコチヨコと動き過ぎるのが見苦しかつたけれども、渡る事は可なり達者で然かも氣をいれてゐたのが氣持よく、殊に『誠に國の礎へぞや』と右の膝をついて左手を腮す型は綺麗に出來たやうと鶴千代を上手に隱す又千松が刺された時の態とも急き込み過ぎたが、例の『果報か因果、いぢらしや』と福禰を掛ける邊り前とは打つて變つた情愛が見ねてよかつた。

■最後に言つて置きたい事は『忠義なる親鳥の、哺哺の竹に飛交す』の床から受けて千松と鶴千代が政岡が盆に乘せ持つて來た米を子供たちと一緒に靜かに投げる、その時ア上の若君、思はず手の力が緩んで泣きの素情、取り落して米が溢れる、千松が顔をしかめる、政岡が盆で顔み隱すといふのが本來なのだが鋒左衛門は荒々しく盆の米を庭へ投げつけてしまつた。そして間も無く『僅かに雀の飛び去りしは――』で撫師太を出し、それを使つての立廻りは實に煩さかつた居うした御殿内の靜かな空氣を攪き交るは最も惡い。經到によくないことだ。

■その他の役々では慶女の沖の井、長之助の松島ともに綺麗だが兩人とも築御前が勸める菓子に政岡が詰る時の助詞は忘れたのか默つてゐたのも訝しい。臓十郎の八汐は取立てゝいふ程の事も無かつたが『凝り固まりし鐵石心、さすが女の愚に返り』で政岡の愁嘆場が濟み約束の『政岡覺悟』と太鼓に連れて飛び出してくるのがいゝのだが、局二人が詰め寄られてのつそりと出て來たので頗る舞臺がダレた

■二日目からは僕の注文通りにして貰ひたいものだ。出來るなら局の外に腰元の五六人も出す事だ、それから九十郎の築御前のつくりが少し老け過ぎた。床下では玉五郎の男之助は輝跡に切穴が無く床下からぬツと出た押出しは美事、市川流の隈取、右手の鐵扇な目先に構へて鼠を睨まへた型も悪くは無かつたが惜しい事に荒事師、鉄扇の翻すで切角の儲け役を打壞してしまつた。市十郎の仁木も花道のすつぽんがらせり上げが無く出が妙だつた、道がにいゝ型を見せた。男之助を睨んでせゝら笑ふあたり傳へ聞く團十郎の莊重は無くとも團扇の凄味に乏しくとも、落つきを見せた點が十分に利いて引込の型など素敵なものだつた

■二番目の扇屋熊谷の熊谷はその最も得意のもの丈けに柄と言ひつくりと言ひ可愛さうに長之助の敦盛の見劣りのする事夥しく臓十郎の上總はよく附合つて居り、玉五郎の姉輪にも始めの期待が悉く裏切れて男之助と同前になつた。市十郎の臺詞は可なり名調子を出すが寄る年波に動かと廻らぬ舌とが言ひしれぬいたましさを覺ゆるのであつた

■殊に四年程前に帝劇で觀た名優吉右衛門の熊谷と長十郎の敦盛、幸四郎の姉輪を見て以來初めて觀る扇屋熊谷に共感が深かつたが桐子に繼まされた尻高な翻刻が市十郎に無かつたのがせめてものだつた。一座は人氣者の團針の大敵を向ふに廻して奮戰してゐるので同情の見えるしく氣を入れて演つてる事が見ぬ理はいふもの丶役々に見ある事を證しておく(太郎法師)

呂昇と東廣

有樂館の女義太夫=景氣の好い初日=すしやと堀川を聽く

◆女義太夫界の人氣者竹呂昇は三十日夜から有樂館で蓋を開けた、一座は若手揃ひの中に呂昇の愛女昇六も加はつてゐるので市中の評判は大したもの、初日は小モメレ前に滿員の札を掲げた素晴らしい景氣

◆昇六の八陣は聞き漏らしたが都昇の朝顔宿社から聞く、語り口は未だ若いが可成聲量もあり前途有望である、呂勇の玉藻前三段目は金藤次の出來榮はよく無難であつた、女さしては押しの利く方、雛駒の喉戸は恣聞れた語り方にてお髄はよかりしもお弓の表情物足らず、もすこし泣かせる工夫を望む

◆右昇の三十三間堂、聲量はあまり豐富では無いが節あり、總して沈着いた語り方なれど節廻し拙い所がある、この人自分の聲量を計り過ぎる傾きあり且つ節尻の變化に苦心し居るやうなれど却て平坦に語る方よろし、青昇の宗五郎子別れ、三年前大阪で聽いた時は未だ推氣を脱せぬ所ありしも近來メツキリ腕前を上げた、佐作の語り場は所々省いたやうだが未だ佐作の持扱しは困難と見ゆ、宗五郎の出より斬の山茶花までちと騷々し、しかし宗五郎は總じて無難、中にも女房おさんは一擧一動眼に見ねて情を穿つた、いゝしんみりした語り口である

◆東廣のすしやは大阪で數回聽いた、これは得意の語り物と云ふ事だが彌左衛門と權太には餘程工夫と鍛錬が積んでゐる、工夫さ云つても晉樂の工夫でなく人形の持場即ち心である、同じ人が語つてゐても彌左エ門と權太の心は全く違つた道を行かねばならぬだけに持場は却々六かしい、この淨瑠璃で權太のみを語らうとするのは大間違ひである、又彌左工門を語らうとするのは間違ひである、東廣の得意は此點をよく會得して語つてゐるにある、缺點を云へば他の人物を聊か等閑に附した所がある、彈き語りの弊害から生ずる未につきはせぬか(本人は區別してゐるのであらうが)と聽者の耳に疑はるゝ場合がある事で、腹を切てからの權太と彌左衛門の『聞へねぞいゝ』以下の口説きは實に手に入つたもの、語つて〜語り消化した賜である

◆呂昇の堀川、數年前東京の有樂座の名人會で堀川を聽いて以來呂昇は氣底さなく聽いたが堀川は聞く機會が無かつた、其當時呂昇を聞いて自分の頭に殘つたのは『奇麗な堀川』といふだけで有つた、通徹ながら堀川そのもの、圓熟たる情緒は味ふ事が出來なかつた、今度堀川を聞いて感心したのは呂昇は與次郎に多大の苦心を拂つてゐる事で、天菓の美聲で與次郎をあれだけ語り分けるのは容易な業で無い、堀川の生命は與次郎である、與次郎の活躍に依つてこの哭しい淨瑠璃に涙が浮くのである『女肌には白無垢』以下は實に申分無く滿場を酔はせたが『母を大事に』以下の與次郎の出は聊か物足らず、且つお俊の兄と受取れぬ點閑の瞭々に見ねてお俊と傳兵衛を取違へるあたりから傳兵衛の心を疑つて母に訴ふるところなど何等の感興も起らないのは甚だ遺憾であるが數年前聽いた與次郎に較らぶれば實に數段の上達である『そりや聞へませぬ傳兵衛さん』以下のサワリ及び絃廻しは得意の美聲を損ひ聽衆をして最後迄も一人も座を立たしめなかつたのは實に女義太夫界の明星呂昇の偉大なる力である(鬼十)

讀者文藝

(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△川柳「世話」

○世話好きがいつも幹事に當選し (一等) 龍山 山家香公

▲世話燒いて手を燒いて居る後仕末 龍山 南魚子

▲世話好きも虎列拉と聞いて寄付かず 同 淡○○生

▲襟口うつかり乘つて世話になり 京城 來鶴

▲世話やかす不幸者ほど案てられず 龍山 小町生

▲娘から世話になるよな不仕合 龍岩浦 大石劍牛

■課題及び募集規定は欄外にあり

六丁目五十五番地趙命根二女順伊(五つ)は二十八日死亡し翌日葬式を營みたるが死因疑はしきを以て檢便の

●太郎に十六名 [illegible]

●流行地と取引中止 釜山水産會社 [illegible]に指定せら

二等(二十八名) 吉村さき、同[illegible]

三等(六十七名) [illegible]

■懸賞課題應募規程 [illegible]

■募集規程 △用紙は端書又は同型の[illegible] △紙上の雅號又は匿名[illegible]

天氣 晴れ 一時曇り 十月二日 [illegible]

初日大入滿員御禮

義太夫界の名人豐竹呂昇一座初日開演早々大入滿員の盛況を呈し候段各位の御引立御同情の賜と深く奉感謝候不敢取以紙上御禮申上候

京城本町一丁目 有樂館

牛乳浴と召さると全様に 皮膚を美しくする 日本に初めて出來た
牛乳製品
ニウソ石鹸と ニウソ洗粉
▲各地化粧品店、藥店にて販賣致候
▲市内は電話御通知次第日々直配達も仕候
▲説明書は御申込に依り何時にても送呈仕候
製造元 東京麴町 阪川牛乳店
朝鮮特約店 京城蓬萊町四 東亞牧場 電話二五番

祝再築落成
舟橋町角に移轉致しました
平山牧場牛乳部 電話一三三番

コレラの豫防に殺菌力石炭酸に十倍せる
アイゼル液
傳染病研究所の檢査成績 千倍溶液にてもコレラ菌を五分間に殺滅す
(各藥店にて販賣す)(目下益々著荷)

義太夫界の明星 豐竹呂昇 來る

祝再築落成
豐竹呂昇の音譜
音譜は鷲印に限る
阿波鳴門 合邦 先代萩 太功記 堀川 鎌倉三代記 寺子屋 廿四孝 三十三間堂 三勝半七 中將姫 壺坂寺 同 段切萬歳 吉田屋
本藏下屋敷 玉藻前三段目 安達原三段目 日吉丸三段目 鈴ヶ森 朝顔日記 新口村 朝顔宿屋 明烏 義經千本櫻 野崎村 忠臣藏七段目
兩面盤 金壹圓五拾錢均一
NIPPONOPHONE
京城本町二丁目
販賣元 日本蓄音器商會
電話一二八三番 振替京城六八四

●日曜の御馳走は何々ぞ

樂しい京城學寮の食堂の團欒

◇子供ばかりの寄宿舍京城學寮の日曜日は働く肥つた元氣の好い小學生ばかりで大賑ひである

◇朝日の日曜を廣い學寮に訪れて見ると、今し入口正面の食堂の中には十二疊敷の疊の上にお午の御馳走が始まつたところで箸と茶碗を抱へて大口を開けた坊ちやんも見える

◇お膳は一脚八人――四人向合ひ――の飯臺が据かれて卓上には午蒡のお惣食物や胡瓜のお漬物を並べ、それに乾魚の御馳走もあつた――昨今の虎疫用心の爲めであらう

◇御飯は大きな姉さんが一人で代る〳〵茶碗に盛つて渡すのであるが何れもなか〳〵お行儀が良い

◇學寮の兒童は何れもなつかしい兩親に別れて單身京城で暮するの許りであるが何分同じ年頃のお友達が多いのでちつとも淋しがる樣子も無い

◇起床時間は大きな十二歳の兒童が午前六時、小さな八九歳の少年が六時半となつて居るが、起床と共に可愛らしい湯殿で洗面する、洗面所の棚は齒磨粉の袋や石鹸箱が順序よく並んで背の高い兒童のものから順次低い棚に造られてある、冷水摩擦は毎朝の日課となつて居る

◇洗面を終ると一同各自に神棚を拜む、此の時は田舍に居られるお父樣やお母樣のお達者で居られるやうにと拜むといふ、可愛らしいことである

◇學校行きのお辨當は石塚先生の夫人が自ら炊事場で親切に準備する午後はまたおやつに菓子を貰ふもあり勉強する者もある、斯くて夜は八時半にスヤ〳〵と寝る

◇廣い學寮の庭は二千坪に餘りテニスも出來ればピンポンも能きる、娛樂室ではまた「モシ〳〵龜よ龜さんよ」の遊戯も始まる、兒童の中には咸鏡南道の山奥豐山郡から來て居る當年八歳の坊ちやんもあつたが一向淋しい樣にも見えぬ

◇誰れでも此所に來た初めの一日は烏渡淋し相に見るが二日目からはモウ愉快なお友達が出來る、猶ほ年長の兒童も自分の來た時分を考へて下の年少者をいたはるやうです…と

◇午後は動物園に行つてライオンを見るとて一同晴着の用意に取りかゝる、各自の小さい行李から折目正しい袴が出ると大きな姉さんが小さい生徒に著せてやる、中には「袷はまだ早い」とお母さんのやうな事を言ふ生徒もあつた

◇先生の奥さんが半紙の包みにお薩のホク〳〵とむし栗と飴玉を配つた、動物園行きの兒童は何れも大ニコ〳〵ものであつた

美味しい午餐　京城學寮にて

神社とお寺と教會

◎浄土宗開教院(本町三) 二日午後七時より廣安僧正及び全鮮各教會主任の聯合大傳道あり第二日の講師及び演題は次の如し

○朝鮮と淨土教(最乘寺補主任)○信仰の體現(水谷元山主任)○衛生と佛教(河野鐵海主任)○吾人の使命(河西水原主任)○宗教は國の爲め乎人の爲め乎(大谷平壤主任)○愛の力(石橋大田主任)○死活(大町開教區理事)○同入和合海(吉村開教區理事)○垂示(廣安開教監)

○東本願寺(南山町) 一日午後七時より信友會ありて大幸氏「人生は入信の道場」の說教あり同藤井氏「他人信仰の經説」の說教あり

○曹洞宗別院(若草町) 一日より三日間各日午後七時より座禪ある由

婦人界消息

△秋山きよせ(秋山觀學官夫人) 觀學官病氣の爲め水原慈惠醫院へ入院看護中なり

△岡田哲子(建物會社支店長夫人) 國岡田三郎氏天津支店長に榮轉の爲め不日京城出發、尚京城女子大學の揚根會にては送別會を催すべしと

△大屋夫人(鐵道局長官夫人) 家族と共に三十日京元線釋王寺へ探勝、一日元山に一泊、二日歸京

◎家族豫防注射 府内各官立學校職員家族の虎疫豫防注射は來る五日十一日の兩日府内慶雲洞(峯晩宮前)女子高等普通學校内に於て施行せらるべしと

◎忽滑谷師入京 曹洞宗大學講師忽滑谷快天師は來る七日午前大門著の列車にて内地より入京八九十日の三日間は毎日午後二時より若草町曹洞宗別院にて法要說教あり猶ほ十一日十二日は龍山瑞龍寺にて十三日十四日は大和町曹溪寺にて說教の上全鮮各地巡講の筈なり猶ほ當洞宗別院にては八九十の三日間毎夜禪學講話を試むべしと

番茶のあと

一日から中學生も普通學校生徒も一樣に黑い冬服に代つた△京城の魚屋さん達はコレラの影響をうけて閑散な人が多いやうである△ザツト京城だけでも三百人の肴屋さんが閑で居るとのはなしであるが今に病氣も熄むで繁昌する時がやつて來る△街のところ〳〵潟か相な芋屋が顔を出して追々畑の芋も肥ねて來たと見ゆる

△かんせき玉子 玉子を水よりかたく湯出て水にとり皮をむき黄味と白味と別々にして置き黄味の方へ砂糖を加へてよくねりまぜ裏ごしにて漉し出して置き白味は二分位にさい〳〵に切り鹽を少しく加へてまぜ其まゝ十分間許り置きて兩方を一所にまぜて布巾の上に四角に六七分の高さにならしつけて布巾を四角より折りかけて十五分間程蒸し取り出してさまして切りて盛る(青木はつ子)

○退給船上陸客 三十日午前入港高麗丸一二等客 [illegible]

三十日午後入港對馬丸一二等客 [illegible]

…目下調査中なり(大邱)

…死者中梁東女(二九)は疑似症

〈演藝案内〉

京城壽町 壽座 電話五七八番

初日二日目 前狂言 御目見得式三番叟 引抜だんまり

中狂言 伽羅先代萩 竹の間より對決まで

切狂言 扇屋熊谷 扇屋より五條橋迄

重なる俳優 片岡松右衛門 [illegible]

本町一丁目 有樂館 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約

三日目 語り物 御祝儀寶之入船(昇玉、小昇)一曾我二段目東天紅之段(昇文)一梅野由兵衛三段目樂町之段(金昇)一鎌倉三代記八ツ目三浦別れ之段(昇六)一矢口渡し四段目頓兵衛内之段(部昇)一岸姫松三段目飯原兵衛館之段(呂男)一お妻八郎兵衛谷之段(雛勇)一日吉丸三段目小牧山城中之段(右昇)一朝顔日記宿や之段(喜昇)一義士銘々傳赤垣源藏出立之段(東廣)一三十三ケ所澤市内より壺坂寺迄(呂昇)ツレ(昇六、金昇)

黃金館 天然色活動寫眞株式會社特約 朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下)

九月二十七日より特別大興行 ○實寫佛國に於ける織工場 ○米國ユニヴァサール會社特作 大冒險大活劇終編「名金」[illegible]

御成座 御成町 電話一九一 朝鮮新派劇元祖 革新團 林康九 一行每日開演

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

九月廿六日より新寫眞提供 ○實寫 エクレール週報 △英國アンダーソン會社傑作 ○探偵活劇 倫敦暗黑面 全四卷 ○新派連鎖劇 小夜子 ○義士銘々傳赤垣源藏 [illegible]

古錢 いろは別古錢價格表 定價廿錢送料二錢 錢圖六百餘種挿入 振替大阪[illegible]番 發行所 大阪松屋町博物北 家村書店

大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番 特約店京城南大門通二丁目新井藥房

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふ無く 眞に能く效く

神疝湯

御試みよ現に

◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頑る難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみし人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸病めし人

なども此良藥神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し癒るの餘り懇篤なる禮狀(現在保存に供す)を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症も難症の論なく即刻試みよ神疝湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

新質改良劑

◎こんな徵候の人

◎腹、手、足、肩、脊、腰、膝、等つり、痺、しびれ又は筋張痛み◎食進まず又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎腹張差込◎腹なり胸つかえ◎嘈飲◎彼處此處と移動し◎何となく怠く◎寒氣◎逆上◎血眼◎目暈◎耳鳴◎頭痛◎歯痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎氣鬱◎癇高より薄らぎ記憶あしく◎無氣力◎根氣◎物事に感じ易く◎顔手足の浮腫等疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神疝湯を試みよ

[illegible]

名古屋市東區京町二丁目 本舗 荒川長太郎

皆さん此節の流行コレラ

人蔘キヤラメルを御存知ですか

京城大門驛前 藤製菓所販賣部 電話二三六七番

京城太平町通 藤製菓所工場 電話二二三二番

花柳病外科專門

◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睪丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱◎六〇六注射◎包皮其他手術

毎日◎診察無料◎入院隨時

京城南大門通(商工銀行裏) 司牛堂醫院

新荷著 スヰツツル製懷中時計

機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

形	品	價格
十七形	ニッケル(兩蓋)	四圓五十錢
同	同 ラヂューム目盛	[illegible]
十八形	銀側	[illegible]
十九形	同 ラヂューム目盛	[illegible]
十一形	金メツキ彫刻(兩蓋)	[illegible]
十六形	鉛理質側水色	[illegible]
十九形	金パリ(十年保證)	[illegible]
十一形	同(同)	[illegible]
十八形	同(同)	[illegible]
同	▽時計 ニッケル側	[illegible]
十二形	同	[illegible]
十三形	同(ラヂューム入)	[illegible]
同	銀側	[illegible]
アメリカ製	十四金ペン付萬年筆	[illegible]

右は今回振替の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して願はくは急速御用命御座候尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計蓄音器、ミシン機械 自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

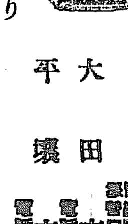
着荷廣告

六〇六號 子オサルバルサン(佛國製)

本品は各地公私立各病院にて實驗、効力確實なるは既に定評あり且他の類似品に比し品質卓越價格低廉なれば不相變多少に拘らず御注文仰付被下度此段御案内申上候也

大連山縣通九十七號 藥種貿易商 濱崎商店

優等清酒



九月二十日より 冷御發賣

京城府蓬萊町四丁目 三巴正宗發賣元 三巴酒造場 電話[illegible]

大田支店 電話[illegible]

平壤支店 電話[illegible]

虎列拉病豫防注射無料施行

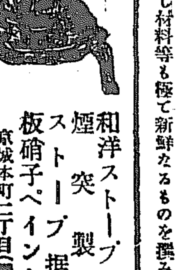
本社被保險者に對し(御家族共)十月一日より當分の内左記病院に於て毎日午前十時より午後四時迄豫防注射の需に應ず

但し被保險者以外の御人にして御希望の御方は代理店へ御申込相成候者は施行注射券差上可申候尚十名以上醫師出張施行可爲致候

仁川宮町 松本病院

主管 淺松太郎 電話一二二番

太平生命保險株式會社仁川代理店



和洋ストーブ一式 煙突製造 ストーブ据付 板硝子ペイント塗料

京城本町二丁目(電話二三一番) 岩見伊勢松商店

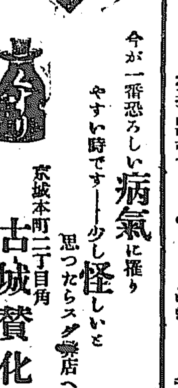
開業參年

毎々御引立を蒙り難有奉存候御贔負樣の多くなるに從ひ家屋も狹隘を感じ候に付豫て屋上を増築中の處今般愈々落成仕り候

增築落成

就ては增築御披露の印として大々的勉强可仕候間何卒御來遊の程願上候尚料理の義は時節柄最も衛生に注意し材料等も極て新鮮なるものを撰み居候

金谷園 長谷川町九七(電一五二五)



今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です――少し怪しいと思つたらスグ當店へ

京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

旅行の好機來れり諸般の準備整ひ陸續御光來御投宿の程希上候

京義線新幕驛前 御旅館 甲陽館

新幕貿易並委托品賣買 小澤秀

十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

報 [illegible]

測候所 前日 最高温度 六十九度八分 最低 [illegible]

宮本武藏

第百七十五回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

さて寛永十四年十二月十三日と相成り、宮本正名愈々今日出陣といふ日早朝より市中の人氣は別段我もくと見物に出る、吉原廓内に於ては其れく支度をして揚屋くは店先を開け毛氈を敷いて屏風を立廻し、三千の遊女何れも今日を晴れと花を飾り、匂を籠め、揚屋々々に控へて待受けて居る樣は、宛然天上の菩薩此處に天降つたかと思はれる許り、聞くならく喜見城の遊樂も之れには過ぎしと思はれて、其美しさは目も眩らむ如く、亦大門口の兩側の茶屋には大小神祇組一名白柄組の旗本、何れも金銀にて模樣押したる小袖羽織思ひくの衣裳を着て、白柄に金短册の目貫入れたる長刀を帶挾み、扇使ひも寛るやかに控へて居ります、宮本先生は前夜より三浦屋四郎左衛門方に泊り、夜前の中に雲井のお雪が縫上げましたる衣裳、花やかなのを見て大に喜こび其夜は四郎左衛門夫婦、庄司甚右衛門、お雪姉弟等と盃を取交して機嫌よく床に就き、翌十三日朝目が覺ると天地神明を拜して武運を祈り、五刻に近き頭出陣の支度をいたしました、四郎左衛門土器に御酒を盛つて勝栗、昆布、打鮑等を進め、武運長久を祝す武藏土器を取つて三獻參り、さて土器を左門に差す、左門押戴いて一獻盃し、亭主四郎左衛門に差す、四郎左衛門受けて土器を納めますると武藏立上つて衣裳を著替へました、其扮裝は下に白き小袖上に緋紅色に金銀にて鎧を二本引いたる小袖を著し、青き筋緞子の袴を穿き、紫絲にて緘したる腹卷を小袖の上に投掛け、藤右馬允則國の一刀を陣刀に造り直し『我亦風流自家珍』と銘を入れたる鍔を嵌めましたのを腰に佩き、上には雲井のお雪が自から著ました裲襠、黒繻子地に金絲を以つて昇龍を顯はし五色の雲を縫つた美事なもの、其れを解いて陣羽織に製作直し、裏には紅鹿子の小袖を解いて付けた目も覺る許りの衣裳、蘭奢の香り匂やかなる、いとも美くしき陣羽織を著て猶其上に白木の木劍の緋縮緬の袋に納めましたのを二本打交へて魔物といたしました、之れは武藏が二刀を使ひます所から四郎左衛門の工夫しましたもの、スッカリ支度をいたしまして玄關の式臺へ立出でる、四郎左衛門も美くしき衣裳を著して前に立ち後からは庄司甚右衛門、お雪、左門、三浦屋の妻及び遊女一同何れも美なしき衣裳を著し、今日を晴れと扮裝つて三浦屋を立出で、仲の町へ繰出した、之れを見ると仲の町の兩側に控へて居りました面々一同に聲を擧げ、喝采々々といふ聲は耳を貫ぬく許り、武藏は滿面美玉の如き好男子、古への山蔭の中納言か在五の中將かと思はれるばかりの面影の人で、其人が斯くの如き扮裝をいたしましたから兩側に見送る遊女一同愛時は恍惚として我を忘れる位らゐであります、白柄組は遙かに武藏を見るとドッと聲を上げ雲時は鳴も止ます、其賑はしき中を武藏愛嬌よく兩側へ會釋して通り過ぎ大門口へ著し玆で白柄組の人々へも改めて挨拶いたし、大門外へ出ると徐て細川家から同行の士並木源左衛門、山田三之亟を初め二三十人到著して居りましたから、直ぐに馬を持つて來て武藏に近付く、武藏會釋して、月毛の馬の逞ましき轡面を片手に取るとヒラリと鞍上に打跨り、左手に手綱右手に三年竹の鞭を取つて『武運御免』と一聲トウくトウと乘出した、並木山田の人々何れも會釋し各々馬に打跨ると宮本に續いてトウくと乘出す、白柄組一同は『宮本氏御武運を祈り申すぞ』『御功名を願ふ』と口々に呼はる

武『忝けなし各々さらば』と一鞭加へてハヨーウと乘立て、堺町葺屋町より四日市を經て日本橋通りへ出で、其れより眞直ぐに品川へ乘込んで來る、市中兩側の見物、宛然雲霞の如く、何れも宮本の華やかなる衣裳に聲を擧げて賞めぬ者はございません、何しろ其頃宮本の人氣は大したもの、程なく品川の宿に入り玆にて一息入れ、神奈川に細川の同勢が居りますから神奈川まで一息に乘付けやうといふので馬を煽つて乘立つて參りました。

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三〇一番

平壤名産 玄武栗 値下 生栗御小賣 ◎旭町一 玄武堂 取次電話一五七二へ掛け下されば配達致します

十月三日 九紫 舊九月七日 癸酉 本命六白 乾建 北負

▲六白 長し短しの事有日新事見合南方は吉 ▲七赤 悠揚たる日轉居入學金談名弘家作求職婚禮牧畜等皆吉 ▲八白 金運の日轉居旅行商入門名弘求職出漁婚禮大なる金融を計る等萬吉 ▲九紫 手にあはぬ事有日新事手控舊事は吉保證請印等せぬがよし ▲一白 窮禍の當る日轉居開業入學名弘求職出漁婚禮取定期業等皆吉 ▲二黑 進步の日轉居開業等皆吉女子の緣談を運ぶに妙也待人來る ▲三碧 惡氣味の事有日新事手控舊事は吉買物に用心せらるべし ▲四綠 一喜一憂の日なれども新規の方吉舊事圖議は妨なし ▲五黃 富貴繁昌の日轉居旅行入學名弘…

[illegible]

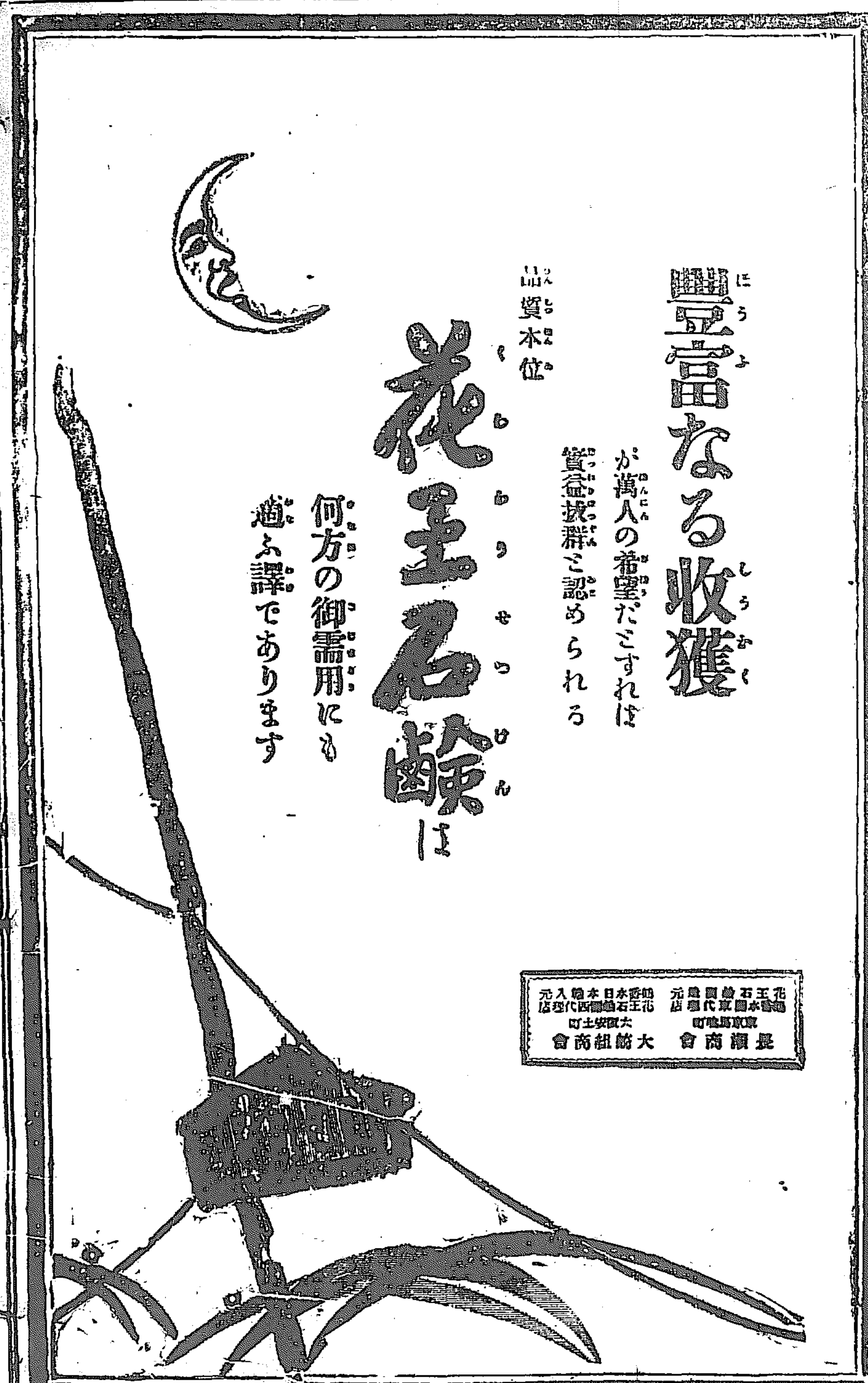
醤油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醤油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證
最上 醤油 （キハク印）
下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

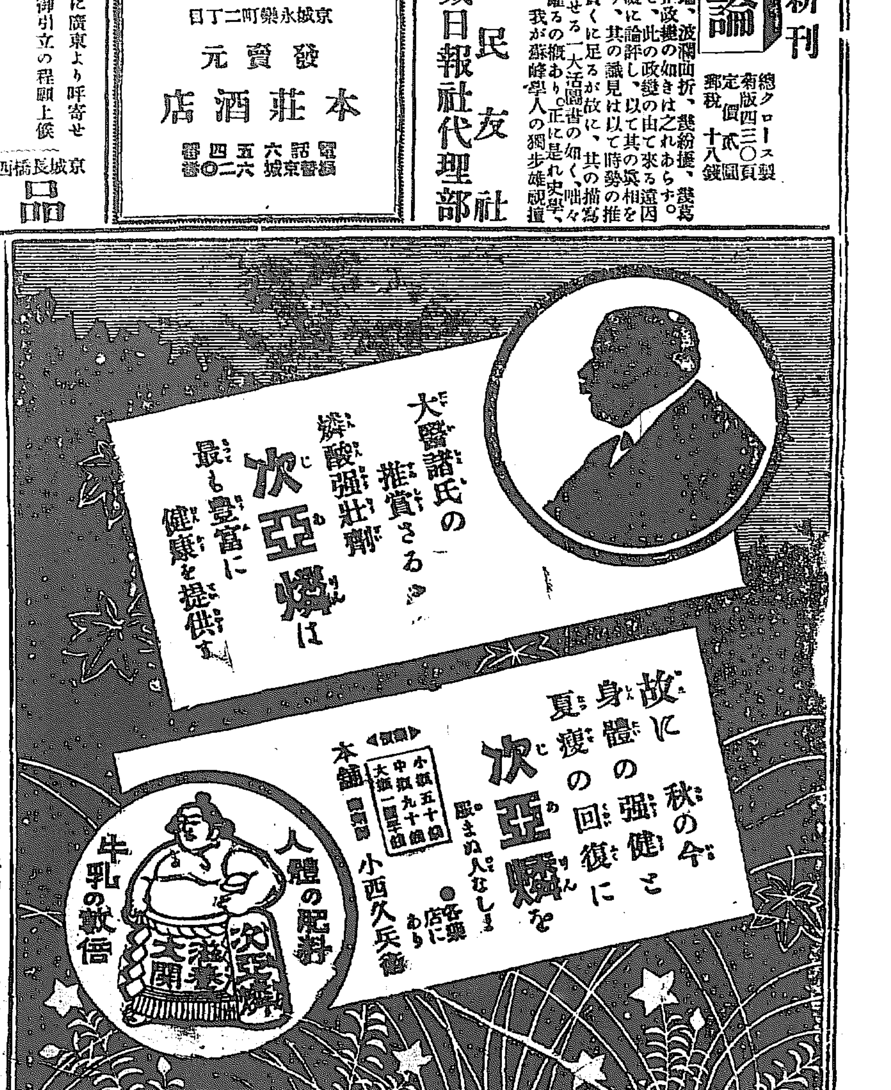
蘇峰學人著 最新刊
大正政局史論
總クロース製 菊版四三〇頁 定價貳圓 郵税十八錢
憲政實施以來已に二十有八年、其の轉變無端、波瀾曲折、糾紛擾甚だしく、政黨の危機に陷りしもの、未だ大正政變の如きは之れあらず。蘇峰學人著者慨世の念禁ぜず、秋霜烈日の筆を揮つて、此の政變の由て來る遠因近因、異因假因、正因傍因、一切を縱橫無礙に論評し、以て其の眞相を闡明す。著者の位地は以て政局の秘機を知り、其の識見は以て時勢の推移を明にし、其の觀察は以て人物の肺肝を貫くに足るが故に、其の描寫せる大正政局の舞臺は、筆鋒躍動、生氣橫溢せる一大活劇の如く、咄々吾人の眼前に展開し來つて、眞に血湧き肉躍るの概あり。正に是れ史學、史眼、史筆の三長鼎立せる一大發現として、我が蘇峰學人の獨歩雄視擅場に庶幾し。
發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
大賣捌元 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

優等清酒
一鶴
京城永樂町二丁目
發賣元 本莊酒店
電話六五四番 振替京城五〇二六番

○開店と大勉強○
支那廣東料理…人は特に廣東より呼寄せ十月二日より開店仕候間何卒御引立の程願上候
出前は遠近に不拘早速御届け仕候
△廣東料理開店▽
宴會は一圓以上三十圓迄如何樣とも御用命に可應候尚並突壇の設備も有之候是非一度御遊の上來御試食願上候
京城長橋西北（貫鐵洞一四一〇）
品芳樓

完全無比（特許專賣）
ビクター萬年筆
責任保證正十四金ペン附 ▼特價▼ 一圓五十錢 貳圓 貳圓八十錢
本品はあらゆる萬年筆の特長を網羅せる最も信用ある自働吸出自働インキ止最新式 目録進呈
東京麻布區山元町五九 振替口座東京三四六八
佳野製作所
特約店 京城堅志洞五十一 廣韓書林





京城日報

第三版

二日朝刊　夕刊と合せて十六頁

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金七十五錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

[illegible]二枚で覆ひて蓋を爲し其の[illegible]尺市の入口を設けたもの上を叉試で張り其即ち蜂の出入口を二寸位とした此の當時三個の[illegible]那式家屋の南方に入口を設けたもの[illegible]一尺位に塗りたる支[illegible]中の氣溫平均は次の通り

十一月　十二月　一月　二月　三月

[illegible]四十五度位の時に認めた貯藏は十月[illegible]十日に於ける[illegible]ったたと地[illegible]乾燥するやうに注意[illegible]る猶同[illegible]派出所の小[illegible]巡査に照會し[illegible]斯前後に旱魃續きたるも昨年よりは[illegible]豆は明[illegible]作は平年より一割五分增と見ば大差なからんと（大邱）

京城日報　コンブルの占領

聯合軍のコンブル占領に就て、英國の有力なる新聞紙は何れも、吾人は最後の勝利の、實體を捉へ得たりと狂喜せり。コンブルは、人口三千の小部落なるも、之が占領の重要なる所以は、廣大なる戰略的防禦工事の存する點にあり。即ち獨逸が過去に二箇年間、其の有らゆる腦漿を絞り、最善の努力を盡して、築き上げたる軍事上肝要なる、連鎖せる防禦地圖を意味し、聯合軍が獲たる、此の防禦工事の組織は、白耳義國境に有りたる、有名にして最も鞏固なる防禦工事よりも遙かに優勢なりと云ふにあり。されば伯林公報が、此の戰敗と共に、苦痛と絶望の色を顯せるは、蓋し獨軍が同村より、驅逐せられたる爲にして、同公報が明に、國民一般に對し、萬一の覺悟を爲さしめんとせるものなりと見るも、敢て過言に非ざるべし。抑も聯合軍が、俄然ソンム方面、殊にコンブル附近に對する攻擊を急ぎしは、早くも獨軍の作戰を、看破せし爲なるべし。羅馬尼軍の蹶起と共に、獨墺軍の作戰は、最も興味ある問題なりしが、獨逸新任參謀總長ヒンデンブルグが、羅馬尼のドブルヂア進擊を決行し、西方全戰線の師團編成を改造して得たる、約三十萬の大兵を、巴爾幹方面に增援するや、聯合軍は巧みに之を看取し、一氣にコンブルとペロンヌの連絡を遮斷し、首尾よくコンブルを包圍するに至れり。更に最近の戰鬪に由り、モールヴァル、フレヂクール、ランクールの等を略取すると共に、全くコンブルを占領せり。之と同時に聯合軍が、鞏か持て餘しつゝありし、チーブヴァルの要地及び、グデクールをも攻略せり。コンブルはペロンヌと共に英佛兩軍の、相連接せる地點に當り居れば、此戰鬪に於ては、兩軍相提携して、此の成効を奏したるものなるべし。然れどもコンブルの占領は聯合軍がブーシャヴェヌ及びシャンシー等近傍の諸高地を占領せし以上當然攻略せらるべき運命に在りて、コンブルの占領は即ち、近傍高地攻略の日に、既に決せられ居りたるもの丶如し。コンブルの占領は聯合軍が最後の勝利[illegible]占據ある戰捷にして、[illegible]大打擊を與へしと雖も、[illegible]に進んで、確實に最後の勝利を證すべき、一大戰捷を要すべし。然らざれば頑強にして剛腹なる獨逸は、尙ほ未だ屈せざるべく、聯合軍たるもの更に多大の、努力を要すべきは勿論也。

鐵自給策と製鐵所經營（八）

經濟研究會に於ける　押川製鐵所長官口述

此の故に製鐵事業の進歩と化學工業の進歩とは密接不離の關係にある。其れから鑛石を熔かした滓で煉瓦を製る、煉瓦を製らねば棄てなければならぬが、棄てるには相當設備を要するので煉瓦を製つて居るのであるが、此の鑛滓煉瓦の需要は却々盛んで、九州中國等には非常に廣まつて居る、但し此の煉瓦は耐火力は餘り強くはないが水には非常に強いから建築の材料として少しも差支なく、九州中國邊には此の煉瓦で造つた白い家屋が澤山ある、製鐵所の建物は殆ど悉く自製の煉瓦を用ゐて居る、尙ほ之は煉瓦計りでなくセメントにもある、此のセメントは專ら製鐵所が需要して居るが、未だ世間には販賣して居らぬ。之も製鐵所に於ては民間に供給したい意見もあるが未だ之を實行するまでに至つて居らぬ、昨年の如きセメントの安い際に製鐵所がセメントを出したなら世間から非常に苦情を言はれるであらうが、今日の如くセメントが長く不足であるならば之を民間に供給することは敢て躊躇しないのであらう、歐米では之を盛んに製りつゝある。

鐵政策上の重大問題

以上甚だ詰らぬことを申上げたが、御承知の如く日本の鐵使用高は年と共に益々進歩して行く、一體今日日本に於ける一年間の鐵使用高が何れ程であるかと言ふと、嘗て調べたものに依れば、一人に付て一年約四十封度使ふ。米國が最も多くして約五百封度、英國は約三百封度、獨逸は二百何十封度であるから日本の使用高は歐米に較べると餘程低い、隨て當分は今日までの勢で製鐵の需要が進んで行くであらう。斯くの如く考へて來ると製鐵事業は經濟上から見ても到底今日の儘に棄て置く譯には行かぬ、又若し萬一戰があれば到底歐羅巴のやうな戰は出來ない、一年所ではない、何箇月も續くまい、他からの材料供給が中絶されたならば大砲や砲彈を如何にして造るか、支那朝鮮との間を絶たれることになれば、殆んど仕樣があるまい。日本の製鐵事業上其の原料は悉く支那や朝鮮から供給を受け得る狀況に在るならば、東洋の制海權を日本が有つて居る以上、戰になつても別段大なる不自由はあるまいが、今日の有樣では大砲を造る鋼鐵板は製鐵所では充分なものが如何しても出來ないので已むを得ず歐羅巴から仰いで居るが之は今日以後日本の製鐵事業上研究すべき重大問題と思ふのである。今後は支那若くは朝鮮に於て良質の鑛石を採見して、軍事上の充分な需要を充たすことが最も必要なことである。其他今日の如き戰爭については砲彈や大砲や小銃等を消費する數量は非常に多量であるから製鐵所が之を供給する上に非常な心配があるのである。故に國家の獨立の上からしても其れ等の必要を充たす爲めに今後互に研究もし調査もして大に努力しなければならぬと思ふ。（畢）

祝京城日報社再築落成

山縣政務總監

朝鮮の古城郭（五）

八木奘三郎

（二）城郭の位置

人類の遺跡中、城郭は其最大なるものにして、又尤も壯快を極むるものなり。然れども此もの亦身分により土地により、民族により、古今によりて大小の別あり、位置の相違あり故に先づ其點を略說す可し、予は今より十三四年前、城郭のことを略記せしが、當時其位置に就て左の三樣に區別せり。

城郭　（一）山城　（二）平山城　（三）平城

此區別は元より事實なれば今に至るも動くことなく、別に又增減もなし而も其發達順に就ては當時の觀察と大差あり、即ち最初は表の順序と思ひても、爾後調査する所によれば、城郭の初めは（一）平城と覺しく、次は（二）山城にして（三）平山城は最も後世の創始なるが如し、勿論後代にも平城あり、古代にも山城あれども、是等は時の事情と土地柄の如何に基くものなれば、發達順の上には何等の關係なし、而も系統上の位置順序は時代關係と利害問題とに必須の件なれば以下少しく其要を云ふ可し。

丁鏞の民堡議に曰く。西崖、柳文忠の言に曰く、山に登て亂を避くるは必ずしも深山窮谷のみならず、若し蒜峰の四面斗絶せる者を得ば、大路の傍らに在りと雖も、共守らざるを患へずと、今宜く諸坊諸村に於て各の蒜峰を求めて各の和堡を築けば、過ま寇賊あるも各の其堡に入て自ら守禦すべし、此之を民堡と謂ふなり。大凡山堡の地は栲栳峰を上と爲す（註に曰く。栲栳は柳器なり、四畔高くして中央陷れること我南漢山城の如きもの是なり。）紗帽峰之に次ぐ（註に曰く、山頂平廣にして四畔斗絶せること紗帽の如きもの也。）紗帽峰之に次ぐ（註に曰く背後に峰有り、階臺を其中腰に作る可く以て倉を築く可く、以て衆を容る可きもの。）馬鞍峰之に次ぐ（註に曰く、兩端高く、中腰微く陷る、凡そ嶺隘の城は此の如くならざるを得ず。）前低く後高く披肝を敵に示すものは用ゆ可からず、半夷、半險腹背敵を受くるものは用ゆ可からず、長風萬里、曠として遮蔽なきものは用ゆ可からず（註人受病）孤り上天に高く、邈として塵界に遠ざかるものは用ゆ可からず、窮深萬壑、兩峰對峙、矢石相及んで而も兩つながら守る可からざるものは用ゆ可からず、一線微く通じ、賊其吭を扼して、我他路なきものは用ゆ可からず、此即ち民堡の計に長ずと雖も、民堡の地極めて罕なり、攻守の勢ひた曉達し、主客の形を明辨する者にあらざれば占むる能はざるなり云々。

咸南一日の遊（二）

中島生

元山著車、二十三日午前六時五十五分。驛には官民多數出で丶總監一行を迎ふ。京城よりは幾かに北位なるも、海風冷かに吹いて、輕衣肌寒きを覺ゆ。七時發車、京元線より咸鏡線に入る。元山驛を出づれば列車は暫し海濱に沿うて駛る。蔣麻、虎島の兩半島相擁して永興灣を作す所長浦斗出して背山環の如く、煙波浩蕩風光頗る賞するに堪へたり。記者の如き、仁川に近き京城に居り乍ら、久しく海水を見る事を得ざりし者、端なくも此の地に來り、懷かしき日本海の水色に接して、近來の煙霞病稍々之を癒するを得たり、望外の幸と謂ふべし。折角の此の風光を空腹にて見るも物足らざれば、直ちに行厨を開きて快喫せり。

元山より咸興線は現在永興まで通ず。中間の驛には德源、文坪、文川、着灘、高原あり。文川より永興まで の線路は我等が行く前の日始めて開通したるなり、謂はゞ此行は文永線の試乘たる也。沿線地方は沃野遠く開け、河流所在に通じ、水利に乏しからずと見ゆ稻作も可なりの出來榮なり。此の夏東拓副總裁野田大塊翁文川まで來りし時、此地方の將來有望なる事を、歸來記者に語りし事あり、翁と其感を同じうせざるを得ず。永興へは元山より列車二時間にて達す。午前九時其地に着すれば、驛前には紅白の幔幕を張りて迎賓の設備を爲せり。永興には人口僅かに七百を有するに過ぎず、辛うじて政務總監以下大官を收容したるのみ、多くは徒歩にて隨行し邑内に入る。

祝再築落成

‖廿の日十の日會同人‖

○黄丘　覗ひ秋草の彩ざりくる

○句平　木の實ころ〳〵の三徑に澄む

○坡柳　此日鉢吹きの木屋運ぶ

○虎耳　往來見下ろしの窓に新酒置く

○鳥堂　青篭を焚いて燒け跡神を送る

○日池　雙塔に秋雲高く動かす

日報歌壇

▣須古俊泉花（京城）

人形と人形遊びに聊を似しもの君と我が上にあり。

君にして始めて得べく我にして見るべきものを得まほしきかな。

我が世とも見るべき程の驕りをば聊もちて月を踏みけり。

はにかみて言換はしたる日の思ひ昨日の如し一年經れど。

たらちねの父母とある日の我がすべておほけなる事のみ醸しつる。

女てふ名をば忘れて過したる日の過失を見する夕顏。

誠をば詐とぞなす歎きより君が心を頼まず成りぬ。

我が夫の心の角に觸るゝ日と母となる日の二つのおびえ。

美しき事と定めて斷念の中に身を置く悲しからずや。

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版　亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に且迅速と叮嚀親切を旨とし御需に應候
京城日報社　寫眞製版部

簿記生徒募集（短期卒業）
卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す　規則書要二錢
京城明治町二丁目
京城簿記專修學館

限定承認及請求申出公告
拙者儀故相續人亡西崎嘉七ノ相續人トシテ大正五年九月廿九日京城地方法院ニ於テ其限定承認ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及ビ受遺者ハ來ル大正五年十二月三日迄ニ其請求ノ申出ナキトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ右民法第千二十九條及ビ第七十九條第二項ニ依リ公告候也
大正五年十月二日
京城府本町三丁目九十七番地
亡西崎嘉七限定承認者　西崎博吉
右未成年者ニ付キ親權者　西崎テル

增補六版　鑑定備考　日本陶器全書
土方久元伯題辭　中村不折君題畫　大西林五郎君編纂
和裝全四冊　正價金五拾錢稅金二十錢
本書は日本陶器の起原沿革を敍し各窯の特色を明記す

新刊　文人墨客　題畫良材
市河米菴先生編　田能村直入先生序　春畝院殺眞文選輯
和裝帙入中本全二冊　正價金壹圓六拾錢　送料金八錢
本書は墨場必携と相待つて最も便なり

新刊　文人墨客　墨場必携
田能村直入先生序　春畝院殺眞文選輯
和裝帙入中本二冊　正價金壹圓　送料八錢
本書は其の名の如く詩文に揮毫の際に便なり

新刊　書家畫家　諺訓題畫必携
金言佳言名句等を索引に便なる爲め類別す

漁獵手引　正價八十錢稅六錢
花鳥畫譜　花鳥畫苑　花鳥畫式　花鳥畫粹　花鳥畫選　花鳥畫集
成功　成功の秘訣は本書にあり　正價廿五錢　送料四錢
右記正價は總て特價同樣値段にて特に送料弊店持にて迅速送附申上候
發行所（振替東京二〇四三）東京市神田區錦町壹丁目　松山堂書店　電話本局二三三七

小學校を卒業して　女學校に入學出來ぬ事情のあるお方は此講義錄をお讀みなさい
本會に入會すれば
父母の膝下で家事の傍ら僅少の學資を以て高等女學校程度の學力を得られます　毎月二回講義錄の配布を受け外に有益な多趣味な婦人雜誌女子の友を毎月配布され講師諸先生が親切に質問に答へられ學校で學ぶのと少しも違ひませぬ
實修　女學講義錄
會長　從三位　下田歌子先生
講師は女子教育に經驗深き一流大家
卒業一箇年半　入會金免除　獎學金其他種々大特典あり
御台覽　北白川宮妃殿下　竹田宮妃殿下　東伏見宮家
講義錄見本　會則　無代進呈
大日本實修女學會

應用　家庭醫學（最新刊）
順天堂レントゲン科長　醫學博士　藤浪剛一先生
前金澤醫學專門學校教授　醫學博士　福士政一先生　序
ドクトル　メヂチーネ　羽太鋭治先生編

本書の出現は通俗醫學界に一新時期を劃したり!!!……
醫學の根本的學理と其應用とに亘つて有ゆる最新智識を網羅することの本書の如きもの他にありや???……

▣家庭醫學通俗醫學を談ずるの書は少くないが、概ね杜選に非ざれば淺薄、寧ろ讀者を誤らざれば幸ひである。本書の如く各科專門の國手各々其專攻の智識と實驗とを披瀝し尨然たる一千七百頁の大冊を成せる者は實に本邦通俗醫學界の破天荒にして又た偉觀である

▣本書は內科外科より眼科齒科に至るまで有ゆる病症に對する應急診斷投藥看護衛生の術を講述して微に亘り細に入り而かも平易明快、深遠なる學理を盛るに通俗實用の文字を以てするもの、最近醫學の粹は此一書に盡きたりと云ふべく眞に家庭醫學の一大寶庫である。

目次の大要
▣第一篇衛生學綱要…ドクトル羽太鋭治▣第二篇人體の解剖及生理…ドクトル松尾案太郎▣第三篇藥物學粹要…藥劑師內藤たまつえ▣第四篇調劑法一斑…藥學士安井作太郎▣第五篇診斷法の一般…醫學士菊地林作▣第六篇內科一斑…ドクトル竹中繁次郎▣第七篇外科の一般…ドクトル羽太鋭治▣第八篇泌尿生殖器病…ドクトル羽太鋭治▣第九篇花柳病…ドクトル羽太鋭治▣第十篇婦人病…ドクトル羽太鋭治▣第十一篇姙娠及分娩…醫學士河合三郎▣第十二篇生殖器病及小兒の疾病…ドクトル深瀨周吉▣第十三篇皮膚病…醫學士齊藤格▣第十四篇眼科…醫學士松村可宗▣第十五篇耳鼻咽喉科…ドクトル▣第十六篇齒科學の一般…東京齒科醫學士河合百人▣第十七篇應急療法…女醫高橋小丈▣第十八篇看護法…本德治

紙數千六百七十頁　菊判極美裝堅牢製本入函
特價　參圓五拾錢　▣正價金四圓七十錢▣
送料市內四十錢地方六十錢　臺灣樺太各四十五錢

發賣所　東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地　振替口座東京二三五七　電話京橋二七四九
目黒分店

◎公侯會見顚末
當日は辭任の疑議のみ

山縣公は既報の如く一日午前八時五十分自動車を驅つて早稻田の大隈首相を訪問したり首相は玄關に公を出迎へ直ちに奧の書院に案內し主客差向ひにて約二時間に亙り疑議したるが其の內容は固より秘密に屬するを以て知るを得ざるも首相より挂冠の時機及び其の善後策に就て相談を持出し愼重に意見の交換を爲したる疑ふ可くも非ず蓋し大隈首相が辭意を決し去月二十七日大山內大臣と會見の際其の決心を言明し而して三十日宮中に於て山縣公、大山內大臣との會見に徵するも最近首相の意中は確に山縣公に通ぜられたる筈なり、されば當日公侯の會見に於ては唯辭職決行の時機及び其後仕末に就て協議し先づ首相より辭職決行の時機並に之が辭職は飽迄立憲的に出づるを以て本意とすと切り出したるに對し山縣公は辭職と後任とは之を切り離して相談するを時局解決の捷徑なりとし後任者に關しては双方話題に上せず單に首相辭職の意見を交換したりと信ず可き理由あり從つて公侯は尙ほ一回會見す可く申合せを爲したりと推定せらる斯くて公侯兩者に於ける懸案の第一日は大隈首相の辭表捧呈にあるは疑なく其の手續を終りたる後愈々時局解決の序幕に入る可し(東京特電)

◎勝利は吾人の上に在り
英國陸相通信員に語る

英國陸軍大臣ロイドジョージ氏が米國合同通信員を引見し語りたる概要左の如し

英帝國は他の干涉を許さず今や準備漸く成りて普魯西の軍事的組織を微塵に粉碎せざれば止まず英軍は過去に於て苦境に惧みしも今や勝利の運命は吾人の上に轉じ來れり如何となれば獨軍の必死的戰鬪は擊破せられざる可からざればなり

次で陸相は佛軍を極力稱讃し佛國の決意は吾人英國のそれと變らず而して露國も亦終局迄戰爭を遂行す可く普魯西の脅威を全然除去せざるに先だちて戰爭を終らしむるを望まずと云々と(倫敦電報)

◎猛烈なる準備砲擊
ピカルディ戰線に於ける次の攻擊目標はペロンヌに在るものゝ如く

之が占領はソンム河に沿へる佛軍の戰線を鞏固ならしむるに非常なる價値を有す故に佛軍はモントセントクヰンチンなる有力陣地に對して猛烈なる準備砲擊を行ひつゝあり然れども之が佛軍の手に落つる迄にトチル谿谷及びデユノードツン河を過りて同一方向に對して地步を固むるに至る可しコンブルの占領は佛軍をして南方に進出するを得せしむる可くチエブバルの陷落は英軍をしてアンクル河岸のバポーメ街道の西方に於て更らに占領地を增さしむる可く此結果アラス南方に於ける獨軍前線の一突出點となる可し(巴里電報)

◎簡易保險申込

十月一日より實施の官營生命保險は團體に對して當分特別割引を爲すと共に保險料集金手數料の割引を爲す筈なり但東京に於ける一日の申込は僅少なるが右は手續等未だ一般に徹底せざる爲めなりと(東京電話)

◎支廠設置大會

平壤の有志は平壤砲兵工廠支廠設置問題に就き一日午後七時より壽町歌舞伎座に於て市民有志大會を開きたるが聽衆場に滿ちて立錐の餘地なく各辯士は何れも熱辯を揮ひて喝采を博し最後に宣言書を朗讀して散會せり(平壤電話)

◎各稅徵收成績

大正四年度各稅及び驛屯賭收入の徵收成績は頗る良好にして各稅の收入步合は左の如し尙ほ圓位以下は切り捨てたれば總計に於て出合ざるべし

地稅	一〇、〇五一、四三六	七、五八三	九九八
戶稅	七九六、六九一	一六七	九九九
家屋稅	二三一、六二八	一、〇一五	九九〇
酒稅	五一五、一八〇	一、四一六	九九六
煙草稅	二五二、七一八	八五五	九九八
鑛稅	二二二、四八	三、七二五	九六一
關稅	四、四一六、二三四	九七	九九九
噸稅	七二、〇四六	―	一〇〇
沿[illegible]稅	三五、八二二	一、〇〇〇	九四二
計	一七、四九四、〇〇五	二五、八六二	九九七
驛屯土收入	一、四九五、二三三	六、一〇九、九八六	

又之れを各道及び各稅別とすれば左の如し但し收入未濟額なくして收入步合一〇〇とならざるは缺損を生じたる關係による

京畿	一、六三二、三五一	五、二七二	九九一
忠北	六五九、〇〇一	一、二八六	九九八
忠南	一、一九七、一二〇	一四二	九九八
全北	一、三五三、一二九	二三	九九九
全南	一、七二四、二四三	一、〇三八	九九六
慶北	一、五一二、五八八	一、〇五七	九九八
慶南	一、四八四、〇一三	二、〇八七	九九八
黃海	一、一[illegible]六、〇四三	七九四	九九七
平南	六三八、三八六	二一二	九九七
平北	五五二、九三七	二五七	九九〇
江原	三九八、〇三六		九九三
咸南	四九九、七〇六	二九七	九七六
咸北	一九八、〇六三		九九九
仁川稅	一、九五六、八七四	一、五二四	九九九
釜山同	一、四一三、七五九		九九九
元山同	四九二、八六四		一〇〇
南浦同	六二四、八五四		一〇〇
計	一七、四九四、〇〇六		九九七

◎仁川穀況活潑

虎疫發生以來の仁川穀物市況は閑散不振の如く感ぜられつゝ有るも事實は世人が想像するが如き程には非ざるが如し昨今鐵道及び帆船の入津通關等各方面より廻著する穀物は重に玄米、大豆、小麥等なるが此等主要貨物中小麥の出廻期は九月中にて重に黃州海州を中心として入津し今尙ほ二百石內外の廻著を見れども相場は殆んど內地値に均しく昨今上物七圓八十錢下物七圓五十錢なれば同業者に在りても倉入保管依托販賣等の方法を立てゝ一時金融の道を講じ相場の持直すを待つて處分する外無かる可く玄米も又新穀出廻り期を目前に控へ居る事とて或は定期受渡米として或は依托販賣として陸海兩方面より廻著する額夥しく虎疫發生以來と雖も水原、沙里院、烏山等各方面より數千叺の廻著ありたり荷受人は重に庄野、奧田、力武、三井、不二、園田等にて此等各精米所にては女工勞働者不足の關係上操業縮少の止むなきに至りたれ共內地品に壓され居る昨今却つて消化力と操業上の調和を得たるが如く何等痛痒を感ぜざる由要するに新穀出盛期前の穀物市況は極めて閑散なるを例とすれ共仁川に於ける穀物市況は六月以降定期受渡非常の大取組なりしため近年稀れに見るの盛んなる荷動きを見今日に至る迄此の受渡繼續されつゝ有るのみならず目下は八限りの受渡未濟なる爲め每日數千叺を諸方面に搬出し活氣を持續し居れり

◎屠場統一實現

京城府は府內の屠場を統一して設備を完備せしめんとの意嚮よりして既に一二の屠場を倂合したるが更に今回小杉謹八氏の經營にかゝる龍山屠場を買收することに決し此程六千五百圓にて契約成立せり京城府は現金授受と同時に同屠場の營業を廢し西大門屠場に合倂する由なり爰に多年の懸案たりし府の屠場統一は實現するに至りたるものなり京城府は新に一萬二千圓を投じて西大門屠場の大擴張を行ふ筈なるが敷地買收其他のため一萬圓の府債を起すことゝなるべきも完成の上は年額三萬圓以上の收入ありとのことなり

◎鮮鐵荷動旬報
九月中旬の荷動閑散

本旬の貨物輸送狀態を見るに發送噸數三萬九千三百六十一噸收入十萬三千八百十九圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て千九百四十五噸(四分七厘)收入に於て八千三百卅六圓(七分四厘)の減少を示せり本旬中出荷の主なるものを擧ぐれば次の如し

順位	品位	噸數	順位	品位	噸數
一	石炭	一〇、〇四四	八	黑鉛	四八
二	木材	三、七〇三	九	石油	三九
三	米	三、四三三	一〇	木炭	三八
四	鑛石	一、五六一	一一	薪	二九
五	鹽	一、一七三	一二	生果	二四
六	大豆	八〇三	一三	石材	二〇
七	雜穀	六九三	一四	石粉	一九

次に前年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し(△印は減を示す)

品目	增減噸數	品目	增減噸數
米	△三、七七六	鹽	二三九
石炭	一、一五五	石材	一四七
大豆	△六四〇	木炭	△一四四
鹽干魚	△四四	石粉	一四一
薪	△三六	鑛石	一二九
黑鉛		牛皮	△

前表の如く本旬の荷動は不況にして一般に米大豆を始め一般主要貨物の荷動著しく減退せり是畢竟天候の不良に基因するものにして本旬に於ける天候は前旬より引續き不良にして殊に前旬末より本旬十三日に亙り水害のため京釜線始め安奉線路の不通に依り運輸上杜絕したる支障尠からざるものあり開通後と雖も捗々しき出荷を見ず旬を通じ荷動極めて不良なりき

主要貨物の出荷概況次の如し

▲石炭 需要季節に向ひ荷動益々活潑にして出荷數量依然主要貨物中の首位を占め前旬に比し六百二十一噸前年同期に比し千百五十五噸の激增を示せり是則ち安東縣撫順炭の出荷盛況なりしがためにして總計三千九百四十八噸を算し前年に比し千五百四十八噸の增加に當れり其仕向地の主なるものは龍山の千五百八十噸を最とし平壤の九百七十一噸之に亞ぎ成歡の三百五十五噸西大門の三百三十一噸及び鎮南浦の百三十一噸とす

▲木材 出荷稍閑散に傾き前旬に比し六百七十六噸の減退なれど前年同期に比すれば倍舊の激增を示せり依然新義州發鴨綠江材最も多く總計二千百十五噸にして總輸送噸數の五割五分を占む

▲米 米價の軟弱なると一般の水害の影響を受けて荷動頗る鈍狀を呈し一日平均三百噸弱に下り前年に比し三千七百十六噸の激減を示せり而して滿洲輸出のみ好況を持續し總數三百十五噸を發し就中鎮南浦、新義州及び釜山發最も多く又鎮南浦群山等より本大長春行も相當の出荷を見たり

▲鑛石 本旬に入り荷動頓に衰へ前旬に比し二百九十九噸の減少なれども前年に比較するときは尙百二十九噸の增加に當れり總數千五百六十一噸中黃州發兼二浦行鐵鑛石九百七十二噸鎮南浦行金鑛石五百五十一噸(四割弱)の割合なり

▲鹽 需要期に入り荷動漸次增進の氣勢を示し總數千百七十三噸を發せり其發驛別數量を擧ぐれば仁川發五百二十七噸を主とし新義州發二百二十四噸釜山發百七噸等之に亞げり

▲大豆 天候不良にて出廻り困難なりしため前年に比し六百四十噸の減少を示せり總數八百三噸中內地移出は二百四噸を占め殘餘は尾道行等最も多し

▲雜穀 市況頗る閑散にして氣配弱含みのため荷動頓に衰へ前旬に比し七百噸(五割)の激減を示せり而して內地移出は僅々四十四噸の出荷ありたるに過ぎず

▲黑鉛 出荷益々好況にして前旬に比し百二十六噸前年に比し二百三十三噸の增加を示せり就中黃海道發最も多く總輸送數量三百四十八噸中百八十噸を占め其他は新安州、新義州、安州及び東林發等とす

▲石油 本品の出荷は近來稀なる盛況にして總數三百三十九噸を出荷したり今其發驛別數量を擧ぐれば仁川發百四十九噸釜山發百五噸を主とし外に鎮南浦發十六噸木浦發十五噸あり需要季節に入り今後相當の出荷を維持すべし

▲石粉 近時精米用として本品の需要漸く增加し本旬に於ては總數二百五噸の出荷あり就中鶴井發最も多く總計百七十二噸(內原料石三十二噸)にして

湖南遊歷(七)
無佛居士の談

▲米の群山

大塊老は裡里からすぐ江景に向つた、予は老と分れて米の群山へと志した、午後五時停車場に著くと天野府尹、高洲素堂、佐藤鐵嶺の諸氏に迎へられる、直ちに驛に最も近き品川精米所を參觀する、籾から漸次白米に化して行く精巧な精米機械の運轉變化は多く予の興味を惹いた、宛も輪轉機にかけられた卷取紙が移り行くに隨ひ新聞に刷り上げられて行くやうなものだ、尙ほ外に群山には森菊、三橋、岩田等の大精米所があるとの事だつたが、時間の都合上訪問し得ざりしは甚だ遺憾である。

埠頭に出て、港內を一見する、予は群山港を海とのみ思つてゐたのに錦江の下流だと聞いて吃驚した、晩秋以降群山米穀の移出時期に入ると稅關附近の廣場は米俵の堆積に埋まり非常の壯觀を呈するとの事であつたが、今日では其の實地は見られない、續いて天野府尹に導かれ老松鬱蒼たる間を步いて海防山公園に上る、行く〳〵萩の花が夕露を帶べる風情を眺め入り一層興に入つた、往年吾社より寄附せる吉野櫻が年每に成長してゐるのを見た、遠からず海防山上に櫻の名所を添へるであらうなど府尹は語る、それから新營の大神宮に參拜する、海は背後に遠く、右手に水道の貯水場を見下す、黃昏の群山市街は脚下に甍を連ねてゐる、市中で大きく見ゆるのは凡て米に關係ある場所で米の檢查場、米穀商事務所、各精米所等であつて此處に群山の氣味の一斑が伺はれる心地がした、暮色の迫る頃下山、夜花月で天野府尹、大澤、阪上、高洲の諸氏から晩餐の馳走を辱うした。

群山市民は其の築港の著手に就て頗る熱心で又盡力中のやうに聞いた、然し完全の築港は巨費を要するし總督府財政の關係上俄に問題の善良な解決を得る事は仲々であらう、唯港內の浚渫費丈が望を遂せられ、浚渫船が浚へてゐるのを見た、又刻下の懸案として引込線問題があるさうだ、其の敷設の順良く捗取らざるには其間色々の事情もあるらしい、しかし元來斯かる事業は港灣修築など云ふ事より問題はズット小さくて行はれ易いから、快刀亂麻を斷つ的の裁斷を當事者に望んでゐる向もあるやうだつた、吾輩は僅かな時間を山に費やしたのみであるから直ちに茲に大膽に其是非の判斷はしないが說者の意見も亦一理を有するやに思はれた。

群山の將來は怎う乎、色々議論もあるやうだ、兎に角群山は近くは全北忠南兩道の產米遠くは全南京畿地方の米をまで吞吐する朝鮮第一の港で亦之れ等の農產地に日用の諸雜貨をも供給する必要な港である左のみ悲觀するにも及ぶまい、群山の商人は木浦商人の多くが釜山の氣風を帶べるに反し一種の覇氣に富める仁川の商風を受けてゐると話して聞かせた人もあつたが、左樣な所も見ゐた、例に依り一詩あり

錦江流域扼咽喉。貿貨往來儘自由。
北控仁川南木浦。居然形勝壓中洲。

◎朝郵增配の機
原田朝郵社長談

朝鮮郵船會社の第五期前半年度決算は九月三十日を以て締切り目下損益計算中に屬するを以て其の益金の何程に達するかは未だ明らかならざるも兎に角今期の吾社航路は戰亂の影響を直接に受け貨客の輸送盛況を呈したるを以て其の收益も亦從來の記錄を破り或は前期の二倍弱に達せんも知り得可からず然れども之は全く變態にして常時繼續すべき收入と目するを得ず從つて予は斷じて增配等の事をなさず基礎を固むべき各種積立金の增加を經企するの要ありと信ず但し此の臨時收益時代永續し益金亦多額を累積するに至れば幾分の臨時配當を株主になす事必らずしも不可ならねど今日の場合は未だ其の時機に非ずと云々

◎上海經由電報

內地臺灣間電線不通の場合上海經由にて臺灣に發著する電報に對しては英國の電報制限なく且つ日本語及び羅馬字を使用し得る由

◎京城府の諭告發布

京畿道長官は虎疫豫防に關し曩に諭告を以て管內一般に警戒を與ふる所ありたるが京城府にても更に三十日を以て府內に諭告を發し淸潔法の勵行、便所、塵芥等の處分より若し萬一病毒の傳染したる場合に於ける屆出方等に關し注意を與ふる所ありたり

◎實業通俗會講話開會

京城食料品及び酒商組合にては一日午後七時より商業會議所に於て通俗講話會を開會し本宿善隣商業學校長其他の有益なる講話あるべし

◎朝鮮案內發行

總督府にては從來一般に配布したる事情要覽の外に更に一覽樣のものを印刷することゝなり表面には朝鮮最近地圖を裏面にも亦最近の重なる產業の生產高及び主要都市の狀況一斑等を刷込たるが近日中に發行一般に配布さるべしと

□附錄

本日再築落成號附錄八頁

人事

▲西崎鶴太郎氏(鎮南浦商業會議所會頭)一日夜入京天眞樓へ▲マヽウンド氏夫妻▲バロス氏夫妻(以上印度商人)一日夜入京朝鮮ホテルへ▲阿部讓氏(鮮銀哈爾賓支店長)二日朝出發赴任

▣滑言化語▣

コンブルの戰捷に就て英人は非常に狂喜して居るタイムスは獨軍の難攻不落なる神秘的保證に對して一大痛擊だと云ひ▲デーリーニユースは獨逸は今や最後の窮境に向つて準備しつゝ有也と喝破し▲デーリーメールは今回發表した獨逸公報の語調でも獨逸の苦痛は知れると云つて居る▲成る程コンブルの占領は聯合軍の大成功ではあるが之れ位の事ではまだ〳〵獨逸は參るまい▲而し獨逸は窮すれば窮する丈け死物狂になるから例のお得意の大飛航船などがのべつに倫敦の空に飛んで行く事だらう▲新聞と云へば海峽地の英紙エコーが日本が瓜哇に垂涎して居る樣な事を言觸すかと思へば又市俄古のツレビウンは日本が比律賓に秋波を注いで居る樣な事を吹聽して居る▲彼方からも此方からも種々の評判を立てらるゝのは所謂喬木風多しかね▲虎疫も大分下火になつて來た樣だが京城にはポツリ〳〵と未だ出る▲終熄だなど思つて安心して居ると大變だまだ何うして鎧は脫がれぬ▲此頃の虎疫は却々味な事をやるので悲喜劇が處々で飛び出す▲釜山では小說にでもあり相な艷な悲劇が演ぜられて居るが內地の岡山縣では飛だ喜劇が演ぜられて居る▲岡山縣は目下衆議院議員選擧で虎疫以上の大騷をして居る▲虎君何と思つたか候補者の一人で大分評判の好い山本唯三郎君の事務所を襲ふて運動員などに喰い付き大分滑稽をやつて居るのは面白い

◎北滿通より

[illegible]ポグシュウントスキ鐵道驛より沛[illegible]物を研究しつゝありしヲーソナ植物[illegible]七晶[illegible]ケースク市に碇泊[illegible]

▲支那汽船の武裝 支那汽[illegible]ブラゴヴエスチン[illegible]

[illegible]ノスキにてあり多數商店の貯藏品をば警察が悉く[illegible]

[illegible]月十五日夜電山[illegible]芦海面新蘇里生れの金鶴川(三)は九[illegible]

探偵號

米國海軍秘密信號書紛失事件……天風 阿武
▲犯罪と科學(毒藥と探偵)……長瀨春風
▲心理學的犯罪鑑破法……安成貞雄
▲俠士か凡賊か(探偵實話)……鴨野村人
探偵奇譚 淸探追捕の回顧……岩井三郎
俄領美譚 拳銃強盜の追捕……木刀山人
▲國事犯殺害事件……望月紫峰
▲宗光政府顚覆陰謀錄……竹洞山人
▲毒婦お傳の七變化……獨醒主人

冒險世界 大倍號

▲探偵回顧譚……前警視廳刑事 白井儀三
▲五寸釘寅吉床下の隱れ家……同上 八十翁述
▲指紋と探偵……司法省指紋部長 秋元源次郎
僞指紋(探偵小說)……虎大[illegible]
呪咀の眞珠(探偵奇譚)……黑潮主人
▲ヶ探偵初陣物語……志道軒士
▲名犬物語(連載冒險小說)……阿武天風
▲瓜哇膝栗毛……坪谷水哉
探偵苦心譚……前警視廳搜查係長 山本

金卅六錢 郵稅二錢 十月號 東京 博文館

謹告

新築中の家屋落成本日移轉候間御了知相成度候猶東亞煙草會社への引繼其他殘務も略々完了候間愈々本月より再び積極的に活動可致候不相變御引立の程願上候

十月一日

新宅 京城府大和町參丁目貳拾四番地
廣江澤次郎
自宅 電話五四一番

信用第一 辭書界の最高權威

文學博士 上田萬年先生著 袖珍堅美一三七〇頁
ローマ字びき 國語辭典
(廿四版)特價金一圓(正價一圓廿錢)郵稅內地八錢臺樺鮮支十錢
最進步したる最文明的なる國語辭典として紳士學生諸君の歡迎措かざるは本書也、廿餘字のローマ字さへ知れば如何なる難語も檢出し得て便利極りなし、本書は實に唯一無二の現代實用的國語辭典にして本書を備へざるは進步的人士の恥辱とする所也

文學博士上田萬年先生 文學博士上田敏先生著 袖珍堅美一三一〇頁
第卄二版 正譯英和新辭典
(正價一圓廿錢)▲特價金一圓▼郵稅八錢臺樺鮮支十錢
使用するに隨つて益々眞價を發揮すとは天下の適評なり、今や全國學校の指定參考書として學生間の歡迎本書の右に出づるものなし

博士諸大學教授家百餘氏分擔執筆 四六判七七〇頁 精巧木版挿畫千五百個
國民百科辭典
特價金二圓(正價二圓半)郵稅十六錢臺樺卅五錢鮮支四十五錢
包容四萬の各項悉く吾人日常必須の知識の結晶にして、現代紳士淑女の顧問、實務家の相談役、教育家學生必備の錦囊たるは天下の公評也

三高教授小田切文學士 四高教師ヲールフアールト先生共著 袖珍堅牢美本一七〇〇頁
新譯註解和獨辭典
(第十四版)定價金二圓 郵稅內地十二錢臺樺鮮支十四錢
著者兩先生が多年教授の餘に成れるもの、語詞蒐集の綿密斬新、對譯の正確巧妙なるは勿論、註釋の親切明確にして初學者と雖も容易に所要の語を索め得べし、夙に和獨辭書界に新紀元を劃せりの公平を博し、今や斯界獨歩の辭典として需要益々旺盛也

見本進呈 往復端書申込次第 各書とも
東京 神田 富山房 振替 一〇五 全國賣捌書店

眼科 內科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
本田醫院
入院隨意 院長 本田建義

▲羅の特別運賃 ベルムキ及ル湖畔スウヤトイノーズに於りて……日より中止せり

▲貝湖植物採檢隊 バイガル……は本年の事業を終結して莫斯科に向け歸來したりと

▲北行運賃又値上 哈爾賓……

●惡魔が鼠に乘移つて

人間の脚に喰入ると信じて脚を斷つた鮮人の迷信
虎疫を猫と藁繩とで追ひ拂ふ

朝鮮各地虎疫の蔓延に伴ひ、朝鮮人の罹病ずるものが尠くない、是が防疫に就ては官民共に極力勵行してゐるが

の行ひであるから官憲でも餘程取締つてゐる、又幾分なり知識のある者は決して行つてゐない

▼京仁地方の 朝鮮人が虎疫に對する感想や迷信的治療法といふを聞くに、今から三十一年前卽ち丙戌の年に虎列拉の猖獗を極めたことがあつた、其頃朝鮮ではコレラは惡魔が人に祟り其惡魔が鼠を使嗾して人間を斃すものであると信じ、洵に怪病であるからといつて鼠病と稱し非常に恐怖し有ゆる迷信的の方法を以て之を防遏したものである、虎疫患者の症狀として脚部の腓腹筋が引きつり

▼痙攣を起す のは鼠が脚の中に喰ひ込むで齧ひするのだと言ひ其の際痙攣する脚部を堅く縛つて小刀で切開し黑血が流れ出れば病氣は卽刻に平癒するものだと信じ盛んに脚部を斷つたものである、而して鼠は騾馬の鳴き聲を忌むから此の禍根を驅逐するには騾馬を鳴かせることが必要だとあり、騾を以て板や土間に強く擦り當て、恰かも騾馬の鳴き聲のやうな音を立て、或は

▼各戶に祭祀 してある城主と稱する神に對し祭典を行ひ、靈砂又は朱砂と稱するものゝ水を以て描いた祈禱の符書を內外の門扉に貼り付け、或は靈朱砂で染めた色紙を腰の財布に結びつけるなどやつたものである、其他虎列拉と黑死病とは鼠病であるからといつて澤山な猫を飼ひ猫の繪を描いで門戶や壁に貼り廻し、而して一洞擧つて藁繩を以て禁索といふものを拵へ之を鐵條網のやうに村々の周圍に張り廻したものである、又

▼黄色の土を 大門入口の兩側に一掬ひ宛盛り、巫女を呼んで祈禱をするは未だしも洞民一同の指定した山の巓に登つて祭禮や祈願をなし榛の木を伐つて二三本宛大門の上に置く、或は朱砂の水を頭の巓邊に塗りつけるなど頗る物騷だが、蒜を多量に食し、燒酎を飲むのは不明ながらも幾分豫防策に適つてゐる、而して柿と棗を大禁物としてゐたのは當を得てゐる、斯うしたやうな

▼騷ぎをする ことは近來餘程薄らいで來たが、猶僻鄙な農村に行くと幾分是に類似した馬鹿騷ぎをやつてゐるといふことである、愚蒙とはいへ、ことは害はあつても益のない迷信的

●澄宮御用掛 廣田雪子女史拜命

本日女子大學附屬高等女學校敎諭廣田雪子女史(三六)は一日午前宮內省に出頭澄宮御用掛の恩命を拜せり女史の嚴父琢磨氏は世に聞ゑたる國學者にして女史も亦國文學の天才と稱せらるゝ程に斯學の造詣深く又和歌に堪能なりと(東京特電)

●竹丸沈沒か

門司市棧橋通巴組所有汽船竹丸(二千百二十噸)は去る二十一日鈴木商店の石炭千四百五十噸を搭載して伊萬里を發したるまゝ今日に至る迄何等消息無く二十九日來海軍省佐世保鎭守府に其捜索方を依賴せるも去る二十三日頃の暴風の爲め沈沒せるにはあらざるかと船主は大いに憂慮し居れり同船は去る三日金澤汽船より十九萬圓にて購入し今回村上常松船長以下三十一名乘組居れりと(門司特電)

●新らしい蒲團に 快よい隔離舍

仁川に於ける虎列拉發生以來の患者數は三十日午後四時迄に三百三十九名に達したるが內寺町及び新花水里隔離病舍現在入院患者數は寺町三十四名新花水里百八名にて總數百四十二名中

▲危險の症狀を 呈し居る者は僅かに十名に過ぎず他の六十名は快復期に入り七十名も又經過良好なりと因に隔離病舍に對し世人は恐る可き弊害あるやの如く嫌忌し居る者尠からざる模樣なるも仁川に於ける隔離患者の功績は前記の如く頗る良好にて他の死亡患者百九十七名中隔離病舍に收容の後斃れたる者は

▲單に五十七名 に過ぎずして他は多く屍體發見や收容前死亡等に依る者なれば結局他の收容虎列拉患者死亡率に比し成績頗る良好なりと謂ふべく避病院の設備の如きも各室毎に蠅取器を設備して蠅の驅除を嚴重に行ひ蒲團の如きも新調藥布團を配したれば激發當時の如き苦痛は絕對に無かる可く更らに保菌者三十一名は

▲溫突に收容し 新花水里には七十人內外を收容し得る病室を增築するなど萬遺憾無きを期し居れば世人の想像するが如き事絕對無き事は當局者として明言する處なり(松元署長談)

●天の一角を望んで感慨無量
朝鮮と滿洲と蒙古は親類
―(三十日夕刊第二面『類似の似て居る朝鮮と蒙古』續き)―

然るに最近支那が中華民國になるに至つて俄かに蒙古をけち臭く扱ひ出したので彼等が憤るのも無理は無いのである、蒙人はまた今の肅親王を非常に

■尊敬して居る それは以前滿朝の時に蒙古及び西藏を治める役所に理藩院といふのがあつて肅親王は其の役所に居られたことがある當時は理藩院に長たる人で遠く蒙古に赴くやうな者は無かつたのであるが肅親王は自ら遠く胡地に赴いて親しく觀察する處があつた恰度その時は私と妻とが蒙古のカラチン王の所へ居つた際で私は肅親王にお目にかゝらぬけれども愚妻は

■親しく拜謁し たといふことであつた、カラチン王妃は王の妹君に當るのである―當時肅親王の行列は實に堂々たるもので實はこの行列が滿朝の皇族として邊境に赴いた始めての終りであつたので當時商賈の人で蒙古あたりの事情を知つた人は滿朝の皇族には無かつたのである談が餘談に亙つたが兎に角鮮滿蒙は元々一にして別つべからざる關係を有して居る殊に

■朝鮮のむかし の高句麗の如きも今の圖們江、鴨綠江を包括して更に東西間島より遠く遼東半島までも領有して居つたのである、われ〳〵が今日南滿鐵道に乘つて遠く開原長春の曠野を過ぐる時遙かに天涯萬里の彼方蒙古の空を望んで無限の感慨に耽るのも强ち理由のないことではない―私はずつと以前から朝鮮及滿洲の語を學術上の言葉に用ゐて居るが鮮滿蒙はどうしても近い親屬關係にあるのである(鳥居龍藏氏談)

●三千餘圓詐取

全北高敞郡孔音面雅橋里金顯奎(三七)全南多光郡々內面內洞李秉元(三〇)同面下東里趙在業(三二)外六名は共謀し昨年一月より本年八月迄前後數回に亙り全北高敞郡守の官印其他を僞造し土地所有權證明濟書の官文を僞造し之を擔保とした借用證書を僞造して全南多光郡多光面下東里慶橫山金重「滿淵淺七、醫師山本仙良、農濟牛馬、川島猛太郎、畑中岩太郎、神長恒久等より三千四百五十圓を詐取したること發覺し目下靈光警察署にて取調中

●大金を强奪す

二十八日夜半釜山草梁洞金明瑞方へ拳銃を携帶せる二名の强盜侵入し家人を脅迫し五圓十圓の紙幣を取合せ金五百圓を强奪し何れともなく逃亡せるより同家にては直に附近派出所に屆出で非常線を張り犯人捜索中なりと(釜山)

東拓倶樂部に於ける撞球競技

●滿鮮鐵庭球戰

滿鐵對鮮鐵庭球試合は一日安東縣滿鐵コートにて擧行最初鮮鐵側勇退三組、滿鐵側同じく一組を出し決戰の結果鮮鐵三組共破られ滿鐵の勝利に歸したり(安東縣特電)

●元山の豺狩

咸鏡南道德源郡赤田面及び縣面附近に於ては過般來豺の襲來頻々として絕えず豚或は小牛其他家畜を咬へ去らるゝ事殆ど每夜の如くなるのみならず畑作を荒し廻る等之れが被害實に尠からざるものありて附近住民は夜分の外出は勿論晝間と雖も人里離れたる畑などに出働きするさへ恐れ居る有樣なれば元山憲兵分隊に於ては近く大々的豺狩を催し以て同方面に於ける豺を全部狩り盡すべく計畫中なりと(元山)

●南鮮荒しの强盜
數年目に逮捕せらる

慶北奉化郡乃城面巨林里金石順(三七)は明治四十三年以降十餘名の强盜團に加はり慶北江原兩道に亙り拳銃、棍棒、火繩銃等を以て十數箇所を荒し廻り一團と共に出沒して三名の殺人罪を犯したる兇賊なるが共犯者の大部分は既に檢擧せられ又は死亡し同人は此程乃城憲兵分隊の手に逮捕せられたり

●聯合撞球大會

東拓倶樂部に於いて東拓倶樂部の主催で大正、倭城、會洞、敎育各倶樂部選手の聯合撞球大會が一日の日曜を期して迎秋門の東拓倶樂部で開會された、淸季倶樂部大會の時競技に加はつて大に氣を吐いた銀行集會所連中の參加が無かつたので物足らぬ觀があつたがそれでも大正倶樂部からは井上東拓理事、山縣五十雄氏、瞭氏などが馳せ參じ五勝者を優勝者とし午前中から盛んに各倶樂部入り亂れて奮戰したが五勝者は容易に出でず、午後より夜に入りては選手のキユー先益々鋒鋩を加へ決戰に入つたのは午後十時過ぎであつた

●三羽鴉の處刑

京城黃金町三丁目居住愛知縣渥美郡神戶村生れの加藤助三郎(三二)は本町四丁目居住新潟縣中頸城郡稻陽村生れの指物職佐藤八十吉と共謀し本年三月一日夜岩草町の大火の際本町三丁目附近の罹災者が持ち込みたる荷物を窃かに隱匿し助三郎は其內衣類十六點、銀……一本を橫領入質したるを手初めに助三郎は七月中外南三箇所にて衣類三十餘點、布團の類、掛軸等を橫領入質し其後同人は住所不定大阪東區東平野町元町生れの箋製造職島田德三(三)と共謀し投恩洞金東祖に靑布村料としての箋製造の有利なる事を勸め共同營業の名義で同人より七月中共寄金として九十五圓及び牛皮二十五圓のものを騙取し尙外一箇所にて布團一枚を騙取したる事發覺し何れも移築せられ京城地方法院にて助三郎は懲役二年六箇月、德三は四箇月、八十吉は同三箇月(三年間執行猶豫)の處分となる

●「百噸祝ひ」の宴

古城、中川、牧山三氏の共同經營する忠淸道の重石鑛區より既に其の採掘百噸に達せしを以て三十日夜三氏は千代本に昵近の官民を招待し「百噸祝ひ」の宴を開けり

コレラ彙報

▲指定地の增加 廿九日更に虎疫流行指定地擴張せられ岡山縣、富山縣、高知縣を增加せし結果卅日午後入港對馬丸乘船客八十二名の內六十二名は神仙臺に停留を命せらる(釜山)

▲大邱虎疫猖獗 市街三分の一交通遮斷 廿七日以來大邱南門方面に疑似コレラ發生せしは既報の如くなるが三十日正午までに二十八名の注意患者を出だし疑似患者として取扱はれたる十七名中已に眞正コレラと決定せしもの十名の多きに達し續々患者を出しつゝあるのみならず目下工事中なる八十聯隊敷地中に又三名(三十日)の吐瀉患者を出だしたる次第にて府民の不安一方ならず警察署は不眠の活動に從事しなほ三十日管內駐在所詰巡查補助員四十五名を召集し應援をなさしめつゝあり幸ひ發生地が府內南部にて患者は殘らず鮮人なるもなほ今後の蔓延を恐れ警務部は非常手段を執り東門市場、東千代田町、西千代田町、西城町二丁目、明治町二丁目、南山町、東城町三丁目、京町二丁目、壽町、南城町、德山町、鳳山洞の一部殆んど府內三分一の面積に亙り卅日交通遮斷をなすに至れり(大邱)

▲服部警務部長檢閱中止 過日來慶北醴泉奉化地方事務檢閱中の服部慶北警務部長は大邱に虎疫流行の爲め檢閱を中止し一日歸邱せり(大邱)

▲大邱兩市場休止 大邱府東西兩市場はコレラ流行の爲め警務部より當分開市を禁止されたり(大邱)

▲出漁中死亡 香川縣人にて當時釜山牧の島に住居せる平井石太郎(三七)は方魚津方面に出漁中廿八日歸途吐瀉し廿九日午前九時漁港內にて死亡せしを以て直に神仙臺に船諸共停留を命じ檢便の結果眞症と決定

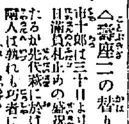
▲井戶全部閉鎖 木浦警察署にては濟州島に眞正虎疫發生し危險迫りたるより此際一層衞生上の取締を嚴重にすると共に先づ病毒の傳播に至大の關係を有する市內の井戶全部を閉鎖し水道給水料を減じ全市民に之れを使用せしむるに決し十月一日より實施する由(木浦)

▲濟州島に十名 去る二十七日巨文島より城山浦に來着せる漁夫岩崎兼吉(三)岩下岩吉(三)松野時春(三)の三名及び鮮人一名眞正虎疫に罹り引續き二十八日に至りて七田五郎吉(三)吉村喜平治(三)渡邊三平(三)大友松次(一)橫谷吉次郎(三)竹下十郎(二)の六名相次いで疑似虎疫に倒れ二十九日に至りて何れも眞正虎疫と決定し尙益々蔓延の兆ありと(木浦)

▲仁川三百四十九名 仁川に於ける一日正午迄の虎疫發生數は三名にて累計三百四十九名に達したり

▲明治町に保菌者 明治町二丁目十九番地椎ふさ子(四七)は檢便の結果一日保菌者と判明せり

▲此の頃物故されたる三井物産重役の渡邊專次郎氏の事に就て野田大塊翁の談に ▲渡邊は漢法醫の忰で星亨がまだ志を成さぬ頃渡邊の處へ寄寓して居た事があつた ▲其の頃渡邊はまだチョン髷を結つて本草なぞを學んで居つた ▲其處で星亨で今の時代はモウ其んなチョン髷を結つて本草などから草根木皮の漢法醫法を學んで居る時期ではない宜しく大に洋學を修め西洋の醫術を學ばなければ駄目だと ▲いふので渡邊のチョン髷を切り落して大いに洋學を仕込んだのは星亨であつた後年渡邊が外國貿易の先驅者と成つて巨萬の富を贏ち得たのも實に星の賚である ▲星沒後渡邊が其の邸宅を引受けて今では三井の山本條太郎の住宅に成つて居ると云ふ事も此んな關係からだ



△壽座二の替り 市川市十郎は三十日より開演初日滿員札止めの盛況を呈したるが先代萩に於ける小役兩人は孰れも巧者に演つてのけたり二日夜よりの二の替り狂言は一番目市十郎十八番の內石川五右衞門四幕中幕梅の由兵衞長吉殺し、切板額市若切腹の場にしてその主なる役割は左の如し △お謙、鶴馬之輿、小梅、板額(綾左衞門)△安之丞、勝二郎(長吉、長之助)△おりつ、梶手(慶女)△金里(春江)△兵部、由兵衞、雁十郎)△五郎市(猊丸)△尼君(九十郎)△三二五郎兵衞、闘太郎△源五郎、彌藤次、與市(小文吉)△五右衞門(市十郎)

△呂昇滿員 有樂館に開演せる豐竹呂昇一座は非常の人氣にて三十日の初日は大入滿員にて盛況を呈したるがその至妙なる語り口には大喝采を博したり

呂昇 三日日 語り物
日吉丸 三段目 右昇
朝顔日記 宿屋の段 喜昇
鈴々傳 赤垣源藏 東廣
三十三所 壺坂 呂昇 ツレ昇六 金昇
澤市內より 電話二六六番 有樂館

京日案內
普通 一回前金 番外六十錢
申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

●金融 月收の御方に極秘信用貸金直接本人來談又は御報次第伺上候 花園町三八電車通質屋 大和屋 439
▼印刷と製本は正確で廉價なる ウツボヤ印刷部へ 427
●有給外交員數名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城花園町一二一 中央金物新報朝鮮支社 436
●轉居 産婆 伊藤初瀨 旭町二丁目一ノ一メソヂスト敎會橫へ 433
●讓店 市內櫻井町目拔場所日用雜貨店口下盛業中都合に依り至急讓渡し(姓名在社) 438
●金融 御月收の御方へ信用極秘立替 大和町三丁目老湯前橫丁下る 京城 旭木屋 432
●店員及手代入用 但し商業に實驗ある者に限る 京城府大和町二丁目百廿番地 大橋三郎 426
●英國製拾二番二連銃附屬品一切有安價にて讓る御希望の方は電話一千〇十六番へ 288
●代診及び看護婦採用 希望者は本人至急來談あれ 京城明治町二丁目 鶴田醫院 413
●貸家 京城鍾路目拔の場所商店向き電話電燈水道付(姓名在社) 28
番外
雇入 普通敎育あり商才に富む三十歲位迄の者自筆履歷書並に英文筆蹟送れ面會謝絕 旭町一丁目七(電二四七四) 松居辰雄 441
病人輸送寢臺車 設備有之候 普通病、傳染病各別々に 京城本町二丁目 電話百十六番 京城醫師會御用 前山組 418
店員入用 吳服店に經驗有る者廿一歲より廿五歲迄一名十四歲の小僧一名希望者履歷書送れ 江原道春川邑內田中吳服店 440
下宿 割安勉强 本町二ノ四五 山田醫院前 和合館 419
京城春川間行自働車賃金片道四圓 京城春川間毎日午前八時出發 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 428
▲洋本職工至急入用 但し罫線印刷に經驗ある者(商店名在社) 423
各種鑛物分析 京城太平通二ノ二三(朝陽分析所) 電話二八三 松永分析所 260
●鮮語● 新學期 十月二日開始 三ヶ月修業 京城靑年會 402
●英語● 各級募集 外國敎師出講 南大門通一(漢城銀行前) 京城靑年會 403

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四二番
內科 小兒科 入院隨意
無料施療す 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

朝鮮諸官廳 受驗講義錄
來ル十月八日ヨリ擧行サル總督府及各道廳ノ文官見習雇員試驗ニ應ゼントスルモノハ必ズ本講義錄ヲ參考ニセヨ今日迄ニ於テモ本講義錄讀者ハ成績シ朝鮮諸官廳ノ試驗ニ應ゼシ者ハ成ルモノハ朝鮮デ出來タ本講義錄ヲ參考トスルガ第一なり
短語。會話。作文。漢文。歷史。地理。算術。法學通論。行政法講義。現行朝鮮法規。各官衙學校試驗案內
內容ハ朝鮮諸官廳受驗參考料目一切網羅シアリ剩ス無シ七冊ニテ完結全部完成定價九圓拾錢送料二十錢

新刊書御案內
朝鮮京城旭町三丁目 朝鮮雜誌社內 朝鮮斯文學會 電話一二五〇番 振替京城一一九二番

書名	著者	定價
日本債權法總論	鳩山秀夫	一八〇
名將之戰略 下卷	岡谷繁實	二〇〇
西洋上古史	村川堅固	一七〇
ヲ氏宗教學原論	鈴木宗忠 早船慧雲	二〇〇
祝賀弔祭演說式辭文範 附	大町桂月 雄辯研究會	一五〇
快心錄	拔山健堂	一三〇
時價詳記古錢通	末松錦莫	四五
獨乙文法辭典	片山正雄	特二五〇
獨文法對照獨乙文法書 全	保田助	一〇〇
一喝禪	中原鄧州	九〇
殺活自在處世禪	丸山小洋	八〇
抄錄日本外史講義	渡邊	九〇
新譯西洋品性論	栗原古城	一〇〇
萬有之神秘	同	一二〇
三年程度中學和文漢文譯 自修書	中等漢文研究會	九〇
學生立志鑑	松尾寺三郎	六〇
脚本アンナ、カレニア	松居松葉	七〇
靑春	小栗風葉	一五〇
全譯戰爭と平和(三)	米川正夫	七五
うき身 上編	細川蒼葉	一四〇
改題九種傳染病豫防軌範 全	北島多一 瀨川平造	六五
中學・實業・商業・女學校 入學試驗豫備書	普通學講習會	四〇

大阪屋號書店 京城本町 電話六八四、二〇八六 振替京城二五七三

蠶繭 屑物 賣買業 京城府龍山漢江通八番地 河原壽夫繭絲店 電話(龍四三二番)

渡邊默禅

「二〇」悪意地

住江を入院させて手厚く治療させようとした平馬の好意は、秀子の一言によつて手もなくびしやりと刎ねつけられた。けれども平馬はその儘口を噤んで了う譯にはいかなかつた。これが何事も起らない先の住江であつて、ふとした過失から怪我をしたといふのでもあるなら、多くの女中も頭立つた人のことではあるし、同情して互に卒なく看護をするであらうから、屋敷に臥かした方が寧ろ當人の利益になるくらゐであるが、今は爾うでない。あの紛失事件から、こつち、秀子とは殆んど仇のやうになつて、双方意地の張つ競に鎬を削つてゐることとも、女中といふ女中が同盟して秀子に加擔してゐることもよく分つてゐる。住江が壯健な體でもあるのなら、假令一人の味方がなくとも大勢を向ふに廻して、立派に太刀打もできようが、こんな重い怪我をして見ればいくら勝氣な女であつても八分の弱味。其處へ突込まれて皆なに窘めぬかれた日には、それこそ慘めな泣きを見ねばならぬ。その爲に病氣が嵩じて萬一のことでもあつたなら、第一藩邸の親許へ對して濟まぬし、又た主人にも申譯がない。これは何處までも住江を保護して、できるだけ安全な地位に置くやうに計ふべきである。と思う思つたので

『併し秀さま。然う彼仰つては少しお言葉が過ぎはいたしませんか。どうぞ慈悲といふことを御念頭にお置きなさいましてお考へ直しを……』

『言葉が過ぎるとは何です。失禮な。慈悲なんてそんな薔式な詞は私に意味が分らないわよ。いくら考へ直したつて、鴉は鷺になる理はなく、鉛が銀になる道理がないぢやないか』

まだ何にも言はぬ先から是だ。老人は殆んど爆火藥にでも障るやうにはら〳〵しながら

『いや、理窟は理窟、人情は人情。責むべき所は十分にお責めなさいましても差閊はございませんが、その代りに恕すべき所は出來得る限り恕して戴きたいと、個樣に……』

『オホヽヽ、隨分矛盾ね。責めたり恕したり。一つの頭腦でそんな兩刀の使ひ分ができますか。私は自分の心を欺くといふことは大嫌ひよ。思つたことは思つたまゝ。惡いことは惡い、善いことは善いで押透すわ』

『でございますが、住江のことに致しますと、退るべき生家は東京になし、外に親戚とてもない身上であつて見れば、何處でゆつくり治療をいたすといふ的もございません。お屋敷に居りましても病人のとなれば却つてお邪魔。貴孃樣のお目障りになつては恐れ入りまするで。一時のところ入院いたさせては如何なものかと個樣に存じまして御願ひを……』

『あら、ちよいと鈴木。誰がそんなことを言ふのだい。聞いたところでは住江の言葉らしいが、お前住江に爾う言つてくれと頼まれて？口も聞けない住江がお前にそんな頼をしたの。わ、訝しいぢやないか』

『いや頼まれた譯ではムいません。手前爾う察しまするので』

『まア、隨分お察しのいゝこと。氣心のしつくり合つた仲は違うわね。オホヽヽ、よく似合つてよ』

『つまらんことを……』苦い顔をして

『では入院ができんとなれば、どうぞ特に一室をあてがつて、誰ぞ一人の女中を附添はせて下さいますやうに、是は手前からお願ひ申します』

『そんな贅澤なことは爲せられませんわ。奥のことは私が勝手に計ひますから、お前干渉しなくつたつていゝぢやありませんか』

『ではそれもお聞届は……』

『はア、不承知です』

老人は撫然とした。その時、昏々としてゐた住江は幽かに目を䀹開いて

『モシ、鈴木さん。』と力のない聲で呼んだ。

新刊紹介

▲婦人世界（十月號） 東京實業之日本社發行婦人世界十月號には前號に續きて村井玄齋氏の『斷食の實驗と効能』いよ〳〵第五週より第七週迄の實驗報告せられ體力と意識の狀態手に取る如く說明せられ第六週目に於ける腦中澄み渡りて無一物となり天國か極樂かの如き精神感動を受けて愉快を覺へたる一段は斷食の妙境を說きて餘蘊なし此外に名譽の述名を以て目下我國の婦人男子無意識の中に襲來しつゝあるコレラ肺病以上の恐しき病氣に付一大警告を發したるは共に大に讀むべき也

▲新少年（飛行機號） 號を追うて發展雄飛せる少年雜誌『新少年』にては今回更に一大飛躍を試み立太子禮大典奉祝の記念事業として日本全國の少年を以て組織さるべき新少年義勇團の設立を宣言し團長には南朝五忠臣の一名流たる男爵名和長憲將軍を推し其活動の第一步として少年の手により成さるゝ飛行機建設の壯舉を發表せるがこれには陸軍中將長岡外史將軍總監督として盡力さるゝ由それがため『新少年』十月號は『飛行機號』と命名されたる由なるが同誌は引續き懸賞募集をなしつゝある學術獎勵『少年文藝』（毎月號）にも掲載さるべき少年文藝募の原稿用紙と共に新少年義勇團入團申込書を添附し日本帝國の少年たる者は何人たりとも一錢も要せずして入團自由也と（新少年發行所東京神田錦町平和出版社）

◎衣食住號 東京京橋銀治橋外東京社發行の『婦人畫報』は十月號を特別增大衣食住號となし畫報、讀物も此方面の材料を以て埋め殊に寫眞に於て諸名家の應接間、客間、茶室、座園等を見せ名流婦人の花嫁姿、奥樣振り、令孃百姿、さては和洋料理より流行の生花髪形に至るまで悉く光澤寫眞版となし鮮明美麗目も覺むるばかりなり讀み物には『衣』の部に横手博士の女の着物の長所と短所外十二項『食』には後閑敎授の一家經濟と食物外十二項『住』に於て伊東博士の現代に適應した住宅外十一項此外新渡戸、山脇、佐野、鳩山諸各博士の有益なる記事山の如く猶は特別附錄として岡田三郎助、鏑木清方兩畫伯の美人畫田村俊子、德田秋聲兩大家の長篇小說を添ふ誠に近來稀に見る完備せる美本にして中流以上の家庭には必ず備へ置くべきものなり一冊五十錢市内各書店にあり

讀者の領分

▲拜啓世界家生樣の御說はもつともと存じ候小生も昨獵期中猪獵に參加せし事も有之候其面白さ活潑さは得忘れず本年は是非共江原成鏡方面にて猛獸狩を致度日頃より心掛け居申候處廿七日の本欄にて勇壯なる御說を承り肉踊るの感に耐へず候御末尾に御加へ下さらば此上の喜びは御座無く候御出獵遊ばされ候節は其月日及び御住所を電話二三一三番迄御知らせ下だされ度伏して御願申上候（小世界生）▲此頃の學生は學校の事を家にてすることが多く有るが家に歸へり自分にして分らぬことは父母に聞いてすることを自分にせず兄弟等にして戴き乍ら先生に出す人が多く有ることとさら女の生徒に多く有る樣に見受ける例へば女學校では裁縫手藝とかを自分にはせず母や姉に戴きながら先生に出して喜んでゐる人が多くある私の子供も時々頼みますが私は教へる丈にして有ります親より氣をつけ下さい先生も御覽下さい（忠告人）▲貴社主催で本年も栗拾に開城行き一日の清遊を企てられん事を御願ひ致します（希望者）▲驛の案内所の方に伺ひ升が私は二十九日十二時頃神戸迄の賃金を聞いた者ですが片道の價を聞て後で往復の價を聞たのは要領が惡いのですか片道の價を云ふて電話を切り後掛直し聞て見ると要領をよく聞きなさいとか何とか大きな御小言を頂戴した尤も聞取れぬ私も二度聞直したが其位な事が面倒なのですか（伊矢楯彌目郎）▲虎疫豫防の心得は巡回講話によつて市内に敗布徹底した併し女小供は兎角其衛條に拘泥するから安心が出來ぬ我が家には一切の物は不潔である食物は之を洗ひ清め物を持ちたる手は必ず洗ふといふ掛け水主義を勵行したなら分り易く危險も減ずと思ふ（博士）

本社構内電話復設

昨冬本社火災に罹り爾來構内電話交換を廢止致居候處今般再築落成と同時に交換臺を復設致候間爾今本社へ御用向きの方は一旦『京城日報社』を御呼出し被下（尤も番號御呼出の必要無之候）更に左記の番號に依り御電話被下度候

編輯局

一番	社長
二番	編輯局長
三番	政治部 經濟部
四番	社會部 繪畫部
五番	編輯部 校正係
六番	書記
七番	毎日申報 幹部
八番	毎日申報 編輯部
九番	應接室（竹の間）
十番	來青閣

營業局

一一番	經理部長 營業局長
一二番	經理部
一三番	廣告部長
一四番	販賣部長
一五番	廣告係 外交係
一六番	毎日申報 廣告係 販賣係
一七番	京城日報 廣告係 販賣係
一八番	代理係
一九番	第一部
二〇番	發送係
二一番	寫眞室
二二番	植字部 整版部
二三番	守衛

◎旅順の養蜂業

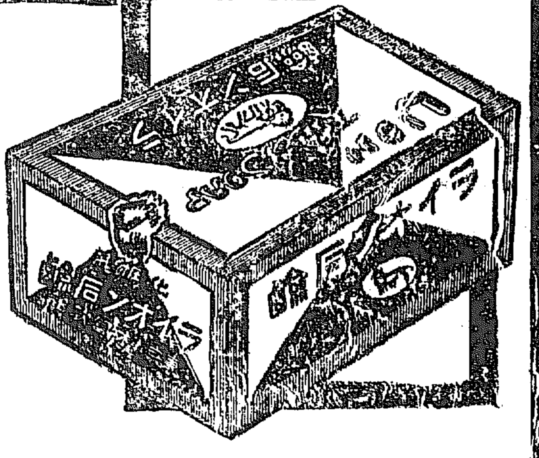
……や板の插ぎ目には紙を張り詰めて密……共蜜の貯藏量は二貫五百匁王蜂及び……と高さ二尺巾二尺長さ四尺の箱の中……

地下室	四九度	四二	四〇	四二	四一
室内	四五	三六	三四	三五	三七
屋外	三九	三四	三〇	三四	三三

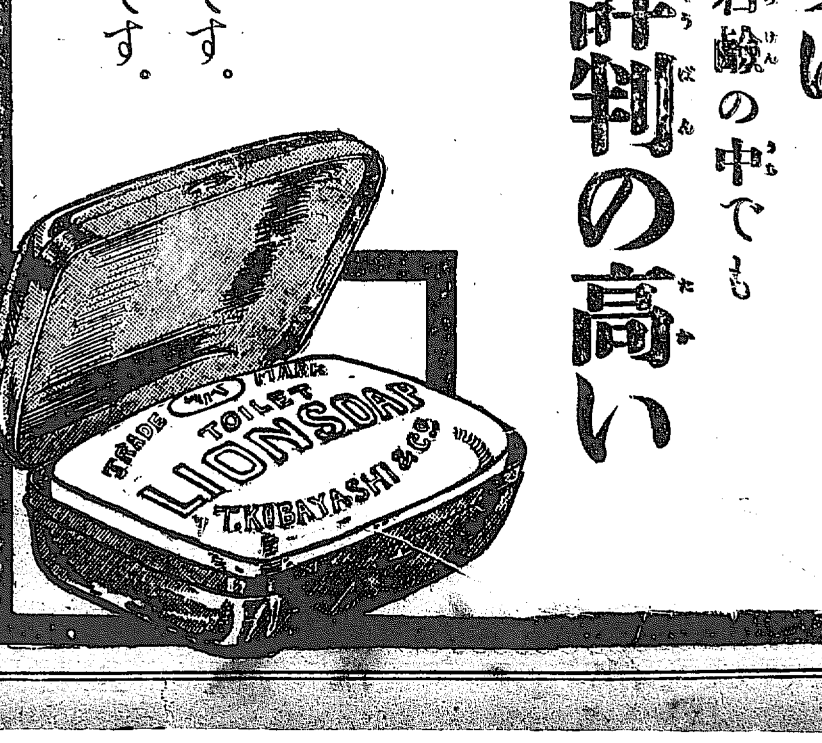
……の狀況は次の通りであつた……しなければならぬ旅順に三郡金州に……一郡を八年七月に分讓したが何れも……れば飼育の詳細を報道する由（大連）

◎滿洲は豐作

……於ては昨年に比し三割、平年に比し二割の增收なるべく北滿地方も亦平年……



特に評判の高い
數多い化粧石鹼の中でも
ライオン化粧石鹼
といふのは此石鹼のことです。
是が日本で一番良い石鹼です。



ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舗 東京 小林富次郎

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意 電話二六〇・一〇八番

日韓書房 新版報告
三宅雪嶺著 改訂縮刷 想痕 定價一圓二十錢 送料十二錢
鐵道院編 本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 上中下卷附圖 定價十三圓
海賀變哲著 常磐津集 定價五十五錢 送料八錢
岩崎直子著 天覽明台 安産のしるべ 定價九十五錢 送料十錢
水野定治著 天翁龍 金原明善 定價一圓三十錢 送料十二錢
京城本町二丁目 電話一四五一 振替口座一一五番

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

醫化學諸器械一式
Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番
藥種賣藥卸商

山縣五十郎 村上唯吉共著
富の道しるべ 價五十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路 第三共同丸 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候 大連にては市商行定期船接續商船航路と同額運賃にて通し輸送取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
本町一丁目（電話一〇八番） 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 泰日町（電話二四四七番） 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二六八・二〇一七） 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路遞信航路を除く間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 須磨丸 十月四日 ×漳州丸 十月十一日 ×天智丸 十月十七日 後五時出
○木浦、釜山、巖原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 ×信濃川丸 十月三日 後二時出
○群山、釜山、横濱行 △福州丸 十月九日 △潮州丸 十月廿一日 後二時出
○南浦、關門、神戸、大阪行 ×潦州丸 月 日 後二時出
○鎮南浦、大連行 ×信濃川丸 十月十五日 ×信濃川丸 十一月二日 後二時出
○大連直行 △福州丸 十月三日 △潮州丸 十月十五日 正午出帆
○鎮南浦行 ×天智丸 月 日 正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆） ○城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 ▲印平丸 十月六日 安平丸 十月十二日 ▲宮島丸 後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十月廿六日 後四時出 湖北丸 十月十五日 前六時出
御注意 ◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との連絡切符發賣仕候◎御乘船各港に於ても一時聯絡貨物運送可致候◎×印は本船△印は船客斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二一〇番五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
◎中國四國沿岸各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆
○君か代丸 十月三日後四時大阪直行
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸 十月六日 後四時出帆
神代丸 月 日 後四時出帆
秀吉丸 十月一日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五番一二三番 鐵道會社及社外船と荷客連絡の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會を請ふ 京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話長一七〇番）
○全羅丸 十月九日 ○京畿丸 十月十八日 ○黃海丸 十月三日 ○咸鏡丸 十月十三日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
○穩城丸 十月一日 ○昌平丸 十月八日 ○鏡城丸 十月四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠清丸 十月二日 ○平壤丸 十月十二日 城津浦潮間定期航路 釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 毎月廿八回 北久味、五峯浦行 元山發
○盈德丸 十月六日 廿浦、九龍里、浦項各港經由鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 ○浪陽丸 毎日 長生浦方魚津寄港 浦項發
○三浦丸 十月六日 長承浦、巖水、巨文島濟州島各寄港 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 十月四日 木浦發
○慶興丸 南多島海列島行 十月二日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行東廻 十月七日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由、德積又は白翎島行 十月三日 仁川發
○江原丸 南島、大連、芝罘行 十月七日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 十月二日 十月七日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發